

特定非営利活動法人

国境なき医師団日本

〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 早稲田SIAビル3階

Tel:03-5286-6123(代表) Fax:03-5286-6124

E-mail:office@tokyo.msf.org

www.msf.or.jp

活動 報告書

2012年 1月 → 12月

特定非営利活動法人

国境なき医師団日本

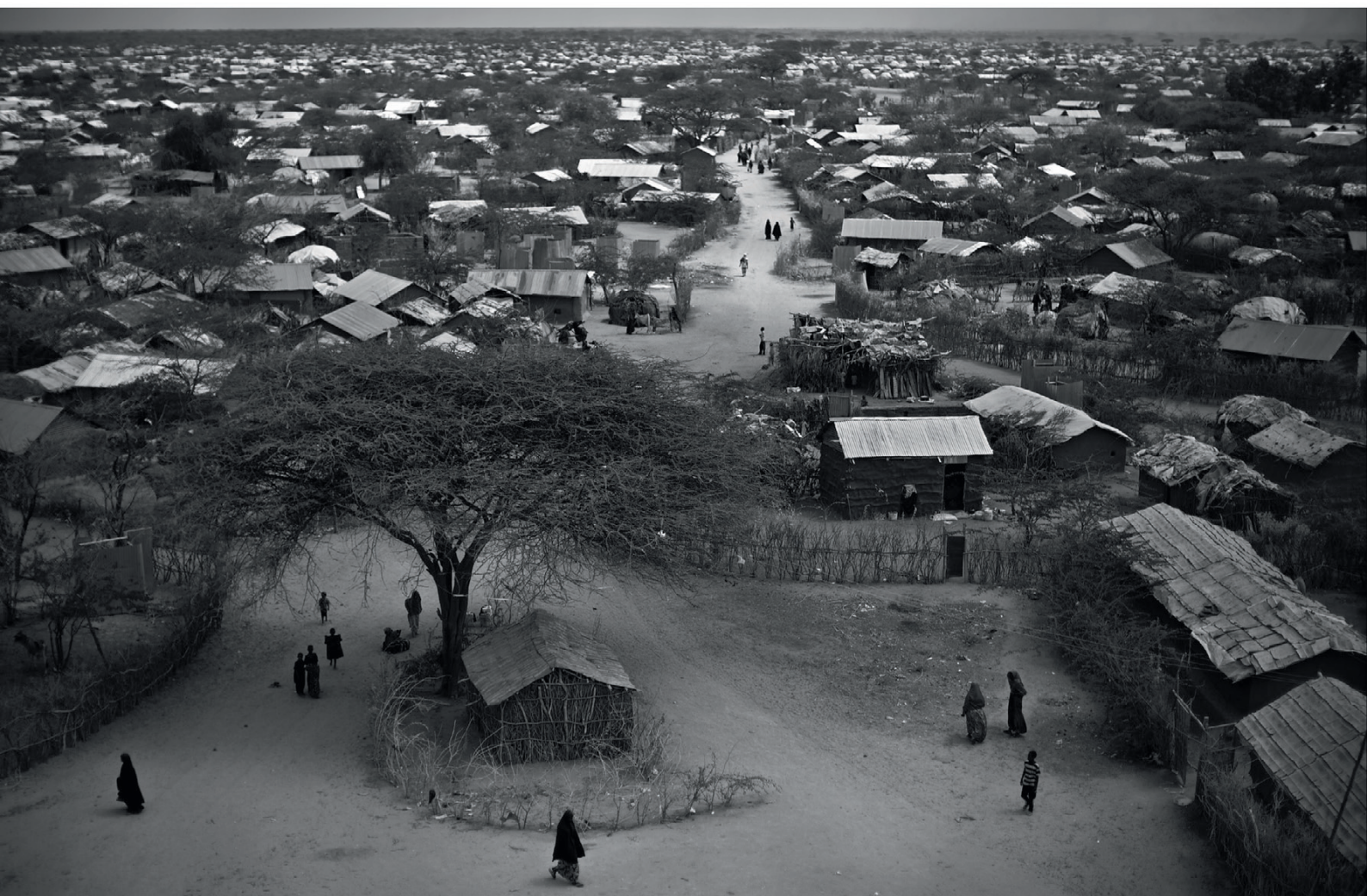


Activity Report 2012

January-December 2012

Médecins Sans Frontières Japan

20th
国境なき医師団日本20周年



国境なき医師団とは

医療援助を第一に

国境なき医師団(MSF)は、非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体です。危機に瀕した人びとへの緊急医療援助を主な目的とし、医師、看護師をはじめとするスタッフが、世界約70ヵ国で援助活動を行っています。1971年にフランスで設立されました。

独立・中立・公平

MSFはだれからも干渉や制限を受けることなく、助けを必要としている人びとのもとへ向かい、人種や政治、宗教に関わらず、分けへだてなく援助を届けます。

世論に訴える

援助活動の現場では、虐殺や強制移住など激しい人権侵害を目の当たりにすることもあります。MSFはそのようなとき、医療だけでは人びとの命を救うことができない現状を国際社会に証言します。

Contents

国境なき医師団憲章/10の原則 The Charter of MSF / 10 Principles of MSF	4
MSF日本 2012	6
会長・事務局長からの挨拶 Message from the President & the General Director	8
海外派遣実績 Field Staff Sent by MSF Japan	10
派遣地からの声 Voice from the Field	12
資金援助対象国 Countries Funded by MSF Japan	14
援助国からの声 Voice from the Field	16
財務ハイライト Financial Highlights	18
財務報告 Financial Report	20
20周年記念事業 20th Anniversary of MSF Japan	32
MSFワールドワイド 2011	33
活動地とネットワーク MSF Activity Map & Network	34
数字で見るMSFの活動 MSF Facts & Figures	36
謝辞 Acknowledgements	38



レバノン

内戦が激化する隣国シリアから逃れてくる難民の数が2013年1月までに20万人を超え、現地の受け入れ体制はひっ迫。MSFは現地の病院やNGOとも連携しながらシリア難民に医療や心理ケア、救援物資を提供した。



国境なき医師団憲章

The Charter of MSF

国境なき医師団は
苦境にある人びと、天災、人災、武力紛争の被災者に対し
人種、宗教、信条、政治的な関わりを超えて
差別することなく援助を提供する。

国境なき医師団は
普遍的な「医の倫理」と人道援助の名のもとに
中立性と不偏性を遵守し、完全かつ妨げられることのない
自由をもって任務を遂行する。

国境なき医師団のボランティアは
その職業倫理を尊び
すべての政治的、経済的、宗教的権力から
完全な独立性を保つ。

国境なき医師団のボランティアは
その任務の危険を認識し
国境なき医師団が提供できる以外には
自らに対していかなる補償も求めない。

Médecins Sans Frontières provides assistance to populations
in distress, to victims of natural or man-made disasters and
to victims of armed conflict. They do so irrespective of race,
religion, creed or political convictions.

Médecins Sans Frontières observes neutrality and impartiality
in the name of universal medical ethics and the right
to humanitarian assistance and claims full and unhindered freedom
in the exercise of its functions.

Members undertake to respect their professional code of ethics
and to maintain complete independence from all political,
economic, or religious powers.

As volunteers, members understand the risks and dangers of
the missions they carry out and make no claim for themselves or
their assigns for any form of compensation other than that
which the association might be able to afford them.

10の原則

10 Principles of MSF

1. 第一に医療援助活動
Medical Action First
2. 証言活動
Temoignage(Witnessing):
An Integral Complement
3. 医療倫理の遵守
Respect for Medical Ethics
4. 人権の擁護
Defense of Human Rights
5. 独立性への配慮
Concern for Independence
6. 公平性
A Founding Principle: Impartiality
7. 中立性の精神
A Spirit of Neutrality
8. 義務と透明性
Accountability and Transparency
9. 自発的に参加する
現地活動スタッフからなる組織
An Organization of Volunteers
10. 同じ目的の下に集ったメンバーが
運営する非営利の組織
Operating as an Association



ミャンマー

2012年初頭時点で12万人ものHIV/エイズ
患者が必要な治療を受けられずにいたミヤ
ンマー。治療中の4万人のうち、しつに2万
5000人の治療をMSFが担っており、年間を
通じてさらなる治療拡大に努めた。

エイズを発症して7年間、車椅子で生活する32歳の男性。妻もHIV感染がわかり、「すべて自分のせい」と話す。

© Greg Constantine

MSF日本

2012年の 活動実績と財務



南スーダン

北のスーダンで激化する政府軍と武装勢力との紛争を逃れ、約17万人が南スーダンに避難するも、国際援助が追いつかない状況が続く。MSFは難民キャンプ5カ所で援助活動にあたる。

2012年6月、南スーダン・ナイル州。スーダン国境から43km地点に到着した難民の家族が、あるだけの材料で建てた仮住まいで休む。

© Louise Roland-Gosselin / MSF

2012年も皆様のご支援に支えられ、 複雑かつ困難な課題に挑戦を続けました。

シリアで戦闘に巻き込まれた負傷者のもとに赴く努力を重ね、南スーダンで大勢の難民の医療ニーズに応える——2012年は、国境なき医師団(MSF)が複雑な世界状況の中で湧きあがる人道問題に取り組みつづける1年となりました。

1年を通じて、MSFはシリア政府へのロビー活動を展開し、負傷者の治療に認可を求めてきました。認可は得られないままですが、MSFはシリア国内3カ所(2012年末時点)に医療施設を設置して援助活動を行うとともに、レバノン、トルコ、ヨルダン、イラクに逃れた大勢の人びとを支えています。国外に避難する人は増えつづけており、MSFはできる限り多くの人への対応を目指します。残念なことです。2013年もシリア国内での援助にはかなりの規模拡大の必要があるでしょう。苦難に耐えるシリアの人びとを援助するため、さらなるご支援をお願い申し上げます。

南スーダンの難民キャンプでは、2012年夏の調査で栄養失調や予防可能な病気による危機的な死亡率の高さが明らかに。MSFは対策に尽力し、死亡率は減少しましたが、世界で最も新しいこの国で人びとは依然厳しい状況におかれています。

大々的に報道される緊急事態だけでなく、多大なニーズがあってもメディアの注目を浴びない地域でも、MSFは活動を続けています。中央アフリカ共和国の医療不足は慢性的に危機にあり、2012年半ばの調査で5歳未満児の死亡率が警戒水準にあることが判明。年末には武力衝突で住民が森への避難を強いられ、事態がさらに悪化しました。その渦中で、MSFのチームは不可欠な医療を提供しつづけています。そして、その活動を可能にしているのが皆様のご支援なのです。

国内では、資金調達面で課題に直面した年でした。日本では当然、震災後の復興に力が注がれています。一方、MSFは他の援助が少ない国外の人道危機に対応を続けました。MSF日本は2012年、計62人を94回にわたり人道援助活動に派遣。また、国内でも医療・人道援助に関する働きかけを強化しました。「必須医薬品キャンペーン」では、MSFの現地活動と関連する医療政策や提言について国内の主要な関係者との連携を図り、また人道問題担当スタッフが、政府や他のNGOとの連携やロビー活動を展開し、活動地における問題解決への後押しを求めています。こうした国内活動の拡大は、世界の人道問題において日本の果たす役割が重要性を増しているという、MSFの抱く確信の表れです。

2012年中に賜ったご支援とご理解に深く感謝申し上げるとともに、引き続きのお力添えを願えましたら幸甚に存じます。



国境なき医師団日本
事務局長
(2005年10月～)
エリック・ウアネス

Eric Ouannes
General Director
Médecins Sans Frontières Japan
(October 2005 -)



国境なき医師団日本
会長
(2010年3月～)
黒崎 伸子

Nobuko Kurosaki MD
President
Médecins Sans Frontières Japan
(March 2010 -)



© MSF / Peter Casaer
内戦が続くソマリアで、劣悪な環境での生活を強いられる避難民に医療援助を届ける。



© Sebastian Bolesch
治安悪化で医療が届かない中央アフリカ共和国の村々を訪ね、アフリカ睡眠病の検査を実施。



© Camille Gillardeau
アフガニスタン南部ヘルマンド州の病院に、MSFは栄養失調児の治療センターを開設している。



© Sami Siva
インドで、通常の薬が効かない薬剤耐性結核患者のための訪問診療。

Your support in 2012 has been key, as MSF works in complex and challenging settings.

From attempting to access patients trapped and wounded by fighting in Syria, to dealing with the health needs of tens of thousands of refugees flooding into South Sudan, 2012 proved to be a year in which MSF continued to address the humanitarian challenges thrown up in a complex global environment.

Throughout the year, MSF staff inside and outside Syria have lobbied the government for official permission to treat those injured in this bloody and complex conflict. Official permission was not forthcoming, but despite this, we have set up three medical facilities and have been offering assistance inside Syria, as well as supporting large populations who have fled to Lebanon, Turkey, Jordan and Iraq. The numbers of those leaving the country to seek shelter outside continue to grow, and our efforts to reach as many people as possible will continue into the next year. Unfortunately, we foresee a significant increase of our medical assistance inside Syria in the year to come. We will need your support to be able to assist Syrian people deal with this difficult time.

South Sudan was also the site of significant MSF activity in 2012, particularly in the middle of the year, when epidemiological investigations in camps for displaced people revealed catastrophic levels of mortality through malnutrition and preventable disease. Intense effort by our teams, meant that these mortality rates were brought down significantly by the end of the year, although the situation remains precarious for tens of thousands of people in the world's youngest country.

As well as the emergencies which grab headlines MSF continues to work in areas which - despite their massive needs - remain out of the media spotlight. In the Central African Republic, where there is an ongoing chronic medical emergency, a mid-year mortality survey revealed alarming rates among the under-fives. The situation worsened at the end of the year when fighting forced communities to flee into the bush. Despite these difficult conditions, our teams continue to offer the essential care which your donations make possible.

Closer to home, in 2012, we faced some challenges in our fundraising activities. Understandably, people in Japan have shown tremendous energy on assisting the recovery efforts following the East Japan disaster, but outside of Japan, MSF continued to respond to grave humanitarian emergencies. Over the year, MSF Japan sent around 62 people on 94 humanitarian missions. In addition, the office in Tokyo expanded our activities in the areas of access to medicine and humanitarian affairs. The Access campaign position has engaged with key stakeholders in Japan on medical policy and advocacy issues related to MSF's field activities. The Humanitarian Affairs Representative liaised with government and non-governmental actors, to lobby and seek support for challenges we face in the field. These new areas are an expression of the organisation's belief that Japan has an increasingly important role in the field of global humanitarianism.

As we look ahead to 2013, we would like to take this opportunity to sincerely thank you for your assistance and generosity over the past 12 months. We hope that your support will continue into this year and beyond.

MSF日本から派遣された62人が27の国・地域で援助活動を行いました

2012年、国境なき医師団(MSF)日本からは計62人のスタッフが、のべ94回、27の国・地域に派遣され、援助活動を行いました。

※ リストは2012年に現地で活動を開始した人が対象。

■ 日本からスタッフが派遣された国・地域
■ その他のMSFの活動国・地域



首都を拠点に複数プログラムの財務管理
[南スーダン/アドミニストレーター]



現地病院で産科医療を支援
[シエラレオネ/産婦人科医]



銃創などによる外傷患者の外科手術
[イエメン/外科医]

フランス

落合 厚彦(ロジスティシャン)

南スーダン

宋 正実(ロジスティシャン)
村上 千佳(助産師)
チョンユン・チェ(薬剤師)
外村 圭介(アドミニストレーター)
ヘヨン・ラ(産婦人科医)
モリス・ナンジュル・ラムナップ(ロジスティシャン)
辻坂 文子(アドミニストレーター)
熊澤 ゆり(アドミニストレーター)
ケヴィン・カヴァノー(ロジスティシャン)
吉田 照美(看護師)
竹中 裕(産婦人科医)
吉田 由希子(ロジスティシャン)
山本 スシルヤダブ(疫学専門家)
森田 光義(内科医)
上平 明美(医療チームリーダー)
サンヨン・リー(産婦人科医)
松本 明子(看護師)

ニジェール

森田 光義(医療チームリーダー)

ナイジェリア

岩谷 純子(建築士)
豊島 さやか(看護師)
吉野 美幸(外科医)
サンヨン・リー(産婦人科医)
久留宮 隆(外科医)
室町 知隆(薬剤師)
ヘヨン・ラ(産婦人科医)
ヒョミン・リー(麻酔科医)

ギニアビサウ

森田 光義(医療チームリーダー)

シエラレオネ

竹中 裕(産婦人科医)

中央アフリカ共和国

神田 紀子(薬剤師)
落合 厚彦(ロジスティシャン)

ウガンダ

大波 和美(臨床検査技師)
ケヴィン・カヴァノー(ロジスティシャン)

ブルンジ

田村 美里(プログラム責任者)

ザンビア

鈴木 貴士(産婦人科医)

ジンバブエ

外村 圭介(財務コーディネーター)

パレスチナ

土井 直恵(看護師)

シリア

萩原 健(プログラム責任者)
村田 慎二郎(活動責任者)※同国2回
初雁 育介(麻酔科医)
小口 隼人(ロジスティック・コーディネーター)
白川 優子(看護師)
神田 紀子(薬剤師)
水野 阿弓(看護師)
沢田 さやか(ロジスティシャン)

ヨルダン

藤 明里(精神科医)

イラク

道津 美岐子(看護師)
水野 阿弓(看護師)
萩原 健(プログラム責任者)
安西 兼丈(血管外科医)
大滝 潤子(看護師)

イエメン

京寛 美智子(副医療コーディネーター)
小野 不二雄(ロジスティシャン)
田辺 康(外科医)
白川 優子(看護師)
吉田 ゆかり(看護師)
安藤 恒平(外科医)
幣原 園子(ER[救急医])
吉田 文(看護師)

エチオピア

スンワ・チャ(内科医)
アジン・キム(アドミニストレーター)
吉田 由希子(ロジスティシャン)
ケヴィン・カヴァノー(ロジスティシャン)
熊澤 ゆり(アドミニストレーター)

ソマリア

道津 美岐子(看護師)
今城 大輔(アドミニストレーター)

マダガスカル

平山 菜々(助産師)

マラウイ

小口 隼人(ロジスティック・コーディネーター)
井上 理咲子(薬剤師)

アフガニスタン

山住 邦夫(建築士)
宋 正実(ロジスティシャン)
馬庭 宣隆(整形外科医)

パキスタン

竹中 裕(産婦人科医)
安藤 恒平(外科医)
馬庭 宣隆(外科医)
岡田 朋子(麻酔科医)
伊藤 まり子(産婦人科医)
吉野 美幸(外科医)※同国2回
幣原 園子(医療チームリーダー)
宮崎 のどか(産婦人科医)
小林 さより(小児科医)
田辺 康(外科医)
宋 正実(ロジスティシャン)
上西 里菜子(IEC)
中嶋 優子(麻酔科医)
三浦 由紀子(麻酔科医)

ラオス

松本 卓朗(ロジスティシャン)

インド

チョンユン・チェ(薬剤師)

スリランカ

竹中 裕(産婦人科医)

フィリピン

松本 明子(看護師)

ババニューギニア

室町 知隆(薬剤師)
岡田 朋子(麻酔科医)



人工透析プログラムにおける血管外科技術支援
[イラク/血管外科医]



治安悪化地域における外傷治療
[パキスタン/外科医]

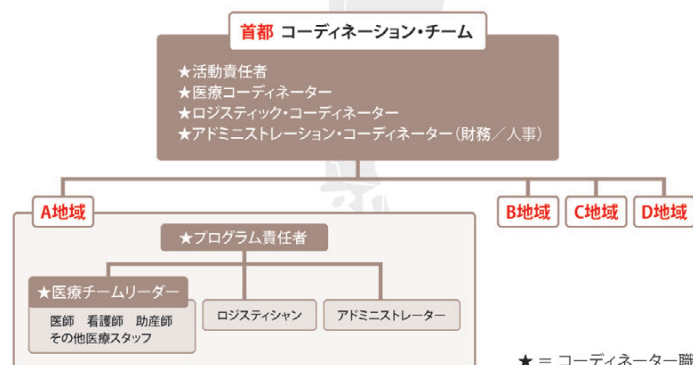


モガディシオのMSF病院で小児科・栄養治療援助
[ソマリア/看護師]

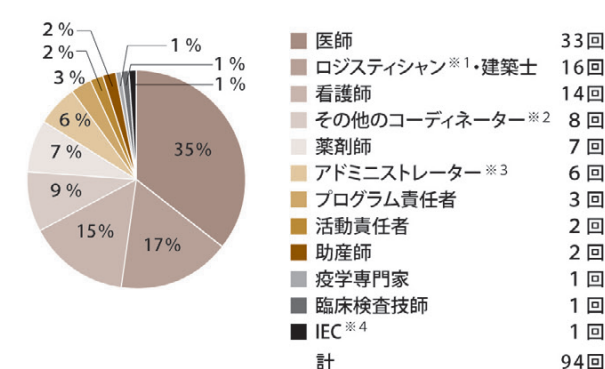


紛争後の地域で医薬品供給改善を支援
[ババニューギニア/薬剤師]

MSF 現地活動組織図



MSF日本 派遣回数 職種別割合



MSF日本 派遣者出身地(都道府県)

東京 10人	大阪 3人	千葉 1人	徳島 1人
愛知 7人	京都 2人	岐阜 1人	福岡 1人
神奈川 5人	長崎 2人	三重 1人	海外/その他 17人
兵庫 4人	北海道 1人	鳥取 1人	計 62人
埼玉 3人	岩手 1人	島根 1人	

※1 ロジスティシャン＝物資調達、施設・機材・車両管理等、状況に応じて医療・財務・人事以外の業務全般を担当。
※2 活動責任者およびプログラム責任者以外のコーディネーター職。
※3 アドミニストレーター＝現地活動の財務・会計・人事管理を担当。
※4 IEC = Information Education Communication。コミュニティ内の健康教育・啓発活動を担当。

海外派遣スタッフを募集しています。

MSF日本では、世界各地で活動を行う医療従事者(医師、看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、臨床心理士)およびロジスティシャン、アドミニストレーターなどを常時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

E-mail: recruit@tokyo.msf.org
www.msf.or.jp/work

民家を改装した病院で 人びとの苦難に立ち会って

2011年から激しい内戦が続くシリア。

反体制派支配地域の住民にはほとんど援助が届かない状況が続く、MSFは政府未認可の病院を開設して医療提供に努めています。

2012年9月から12月にかけて、

シリア国内の民家を利用した仮設病院に派遣され、手術室看護師として活動した、白川優子さんの声をお届けします。

白川 優子(看護師/シリア)

シリアの情勢は報道もされているとおり、あちこちで戦闘が起き、市民も爆撃の被害に遭っています。公立病院には政府支持者しか行けず、ほかの病院は攻撃を受け、負傷者は検問を避けながら徒歩で近隣国に逃れるか、反政府勢力の秘密病院に行くしかありません。国境なき医師団は、シリア政府の認可を得られないまま、非公開の仮設病院を複数立ち上げました。

私が活動した病院は、元は普通の住宅ですが、救急・蘇生室・手術室・回復室・滅菌室・薬局・病棟に分かれ、病院として機能するよう改装してあります。それでも、受け入れ規模には限界がありました。重傷者を優先するため、普通ならもっと長く入院すべき患者さんに退院してもらわなければなら

ないこともありました。

私は手術室看護師として、手術室・回復室・滅菌室・衛生管理の責任者を務めました。当初は現地で看護師を集めることが難しく、普通の若者をスタッフに養成したり、夜の緊急時には近所の薬剤師の方に手伝ってもらったりして、やりくりして手術に対応しました。

患者さんは7、8割が市民で、ほとんどが空爆の被害者でした。赤ちゃんも何人も負傷して運ばれてきました。銃で撃たれた妊婦さんも来ました。手術後に目が覚めて初めて、自分以外の家族はみな亡くなったと知る患者さんもいましたし、アレッポなどの大都市で将来を夢見て暮らしていた多くの大学生たちが、病院のベッドで絶望する姿も目にしました。

帰国が迫ったある日、病院の周辺が空爆を受け、緊急避難後にそのまま帰国することになってしまいました。小さな

病院で温かい交流ができた患者さんや現地のスタッフに、きちんと挨拶できなかったことが心残りです。日本に帰ってもシリアの人たちのことが頭を離れない日々が続きましたが、次の活動地への派遣を待ちながら、彼らの身に起きていることを日本で伝えるのも私の務めと考えています。



手術室で負傷者の治療にあたる白川優子看護師。

シリア

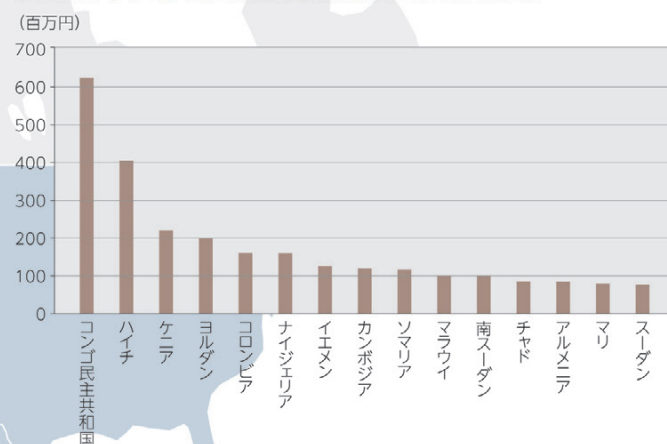
2011年「アラブの春」に反応して政府と反政府勢力の対立が表面化。2012年も戦闘は激化の一途をたどり、MSFはシリア政府に活動許可を求めつづけたが、得られないまま6月に国内で活動を開始した。



MSF日本から、27の国・地域での活動に資金援助を行いました

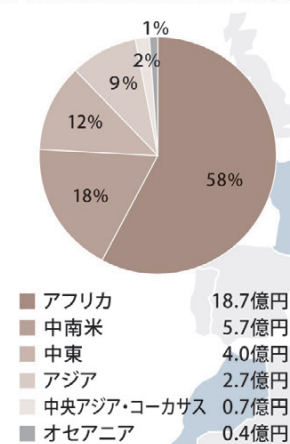
2012年、国境なき医師団(MSF)日本に寄せられた資金は、紛争や貧困により危機にさらされた人びとに医療・人道援助を届けるため、プログラムを運営するオペレーション事務局を通じて、27の国と地域での活動にあてられました。

MSF日本による国別援助実績(上位15カ国)



※すべての援助対象国と金額の詳細はP.21に掲載。

活動地域別実績および割合



■ 日本から活動資金の送られた国
■ その他のMSFの活動国・地域

ハイチ

主なプログラム内容：やけどなど外傷治療をはじめとする外科診療、産科、救急医療、コレラ流行への対応など



© Yann Libessart / MSF

コンゴ民主共和国

主なプログラム内容：国内避難民援助、紛争地域での移動診療、性暴力治療、産科ケア、はしか対策など



© Juan-Carlos Tomasi

マリ

主なプログラム内容：武力衝突による国内避難民に対する医療援助、マラリア予防や栄養失調流行への対応など



© Simon Rollin / MSF

カンボジア

主なプログラム内容：訪問診療などを通じて多剤耐性結核・HIV/エイズ治療を提供



© Eddy McCall / MSF



© J.B. Russell

ヨルダン

主なプログラム内容：シリア、イラク、パレスチナなど紛争地域から搬送された外傷患者の外科治療



© Saoussen Ben Cheikh / MSF

イエメン

主なプログラム内容：武装対立の影響を受ける地域における栄養治療などの医療援助、負傷者の外科治療

難民キャンプの危機的な死亡率改善に取り組む

スーダンで激化する紛争を逃れてきた人びとが暮らす南スーダンの難民キャンプでは、増えつづける人口に国際援助が追いつかず、2012年6～7月の調査でキャンプ内の死亡率が危機的水準を遥かに上回ることがわかりました。援助拡大に全力であたったMSF。現地の状況について活動責任者が語った、同年9月のインタビューをご紹介します。

アンドレ・ヘラー（南スーダンにおけるMSF活動責任者）

Q. 9月時点で、イダ難民キャンプの状況は？

状況はかなり改善しました。6月半ばから7月半ばの死亡率は緊急事態を示す水準の2倍の高さでしたが、1ヵ月で病院内死亡率は25%から2%に低下しました。ただ、死亡者の大半が5歳未満児でした。子どもたちは最も弱い存在です。診療数を1ヵ月前よりも大幅に増やし、子どもたちが重症になる前に来院できるように、診療場所も増やしました。

MSFの活動は難民の健康に実質的な効果をもたらしていますが、完全に危機を脱したとは言えません。栄養失調児の半数近くは入院治療が必要で、入院・外来患者の主な死因も以前と変わらず、下痢、水が媒介する感染症、肺炎など、例外は雨季の影響で急増しているマラリアです。

MSFは水・衛生活動にいっそう力を入れています。

Q. どのように援助を拡大してきたのですか？

人的・物的資源の投入規模を拡大してきました。病床を40床から100床に増やし、医師、看護師、水処理と衛生の専門家を増強しました。井戸のくみ上げ・貯蔵能力も拡大し、消毒済みの水8万リットルの提供が可能になりました。難民たちの持つ貯水容器が汚れていて感染症の恐れがあるため、新しい容器の配給も行っています。共有トイレも建てています。近場にトイレがないのに人口は増えつづけているからです。1週間に到着する難民の数は最大1000人に上ります。

Q. 現在、そのほかに直面している問題は？

雨季に入って、物資、薬品、食糧などの搬入が難しくなり

ました。輸送には空路しかありません。MSFには750kgの貨物を運べる小型機がありますが、必要な物資をすべて運ぶには国連のヘリコプターも利用するしかありません。あと数ヵ月、雨季が続く間は、私たちの足元はぬかるんだままです。

難民の健康を観察し、生活環境を改善する活動の継続が求められています。死亡率を下げるという最初の1歩は達成しましたが、イダの難民はいまだ厳しい状況にあります。



アンドレ・ヘラー



南スーダン

スーダンから到着する難民が増えつづける6月には雨季も到来してキャンプの住環境が劣悪に。イダ難民キャンプでMSFが6月から7月にかけて行った調査では1日あたり5人の5歳未満児が亡くなっていた。

イダ難民キャンプの水汲み場。雨季の間、キャンプ内は水浸しの状況が続いた。

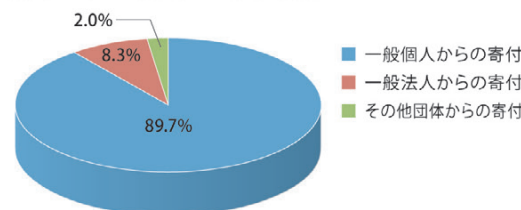
© John Stanmeyer / VII

1999年の特定非営利活動法人(NPO法人)設立から14年、皆様からの厚いご支援に支えられ、国境なき医師団日本(以下、MSF日本)は認定NPO法人として、着実にその人道援助活動の規模を拡大してまいりました(下段の棒グラフご参照)。2012年は、目立った大規模な自然災害こそなかったものの、南スーダン、シリア、ハイチ等、世界各地で深刻な人道危機がみられ、MSFはそれらに対し積極的に活動しました。またMSF日本は、現地での活動を企画・運営するオペレーション事務局からの資金的ニーズおよび海外スタッフ派遣という人的ニーズに、パートナー事務局として、それぞれ対応することができました。2012年、1年間のMSF日本の活動を財務面から振り返ります。

1. 寄付収入は総額46.8億円

皆様からの絶大なるご支援、ご厚意により、2012年度のMSF日本の寄付収入は、総額46.8億円となりました。

寄付収入(46.8億円)の支援者別内訳



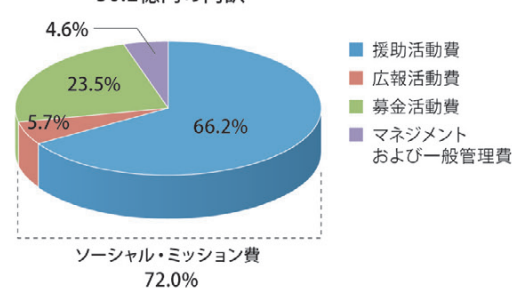
一般個人支援者数	206,460人
一般法人支援社数	7,952社
その他支援団体数	2,086団体
のべ支援者総数	216,498

支援者総数は、前年比で7.8%増加しました。寄付金以外にも、現物および役務・サービスのご提供という形でのご支援を数多くいただきました。

2. 援助活動に係る支出は総額50.2億円

2012年度、MSF日本は、総額50.2億円の資金を右記の各活動に充当しました。前期比で、減収にもかかわらず、総支出は1.5%増加したため、結果として収支は3.4億円の欠損となりました。MSFは、活動の有無と内容・資金を緊急性と現地の医療ニーズから総合的に判断し、必要額以上の資金調達を行わないことを方針としています。2012年度は、国内の関心が震災後の復興に向けられる中、上記の方針を貫き、震災関連の募金活動を行いませんでした。このことが減収の一因となったものと推測しています。

援助活動に係る経常費用
50.2億円の内訳



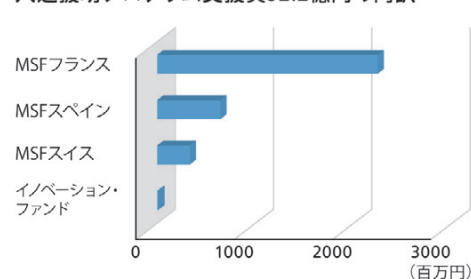
	(百万円)
① 援助活動費	3,322
・人道援助プログラム支援金	3,221
・国内外でのプログラム・サポート等	102
② 広報活動費	286
③ ソーシャル・ミッション費計(①+②)	3,609
④ 募金活動費	1,177
⑤ マネジメントおよび一般管理費	229
援助活動に係る経常費用合計(③+④+⑤)	5,015

※詳細は、P.24～31に掲載の「主要財務諸表」をご覧ください。

3. 人道援助プログラム支援金は総額32.2億円

MSFには、5つのオペレーション事務局が人道援助プログラムを運営し、MSF日本などパートナー事務局が財政支援をするという組織構造があります。MSF日本は2012年度において、パートナーシップ協定を結ぶMSFフランス、MSFスペインおよびMSFスイスが世界各地で運営する、各種の人道援助プログラムに対して、総額32.2億円の支援金を配分しました。

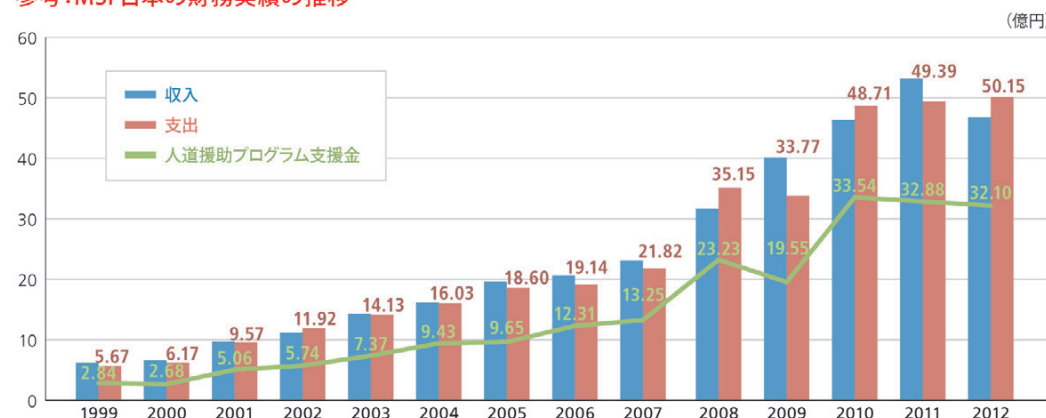
人道援助プログラム支援費32.2億円の内訳



	(百万円)
MSFフランス	2,240
MSFスペイン	640
MSFスイス	331
イノベーション・ファンド	10

※2012年度の支援金の国別配分額の詳細については、P.21をご参照ください。

参考: MSF日本の財務実績の推移



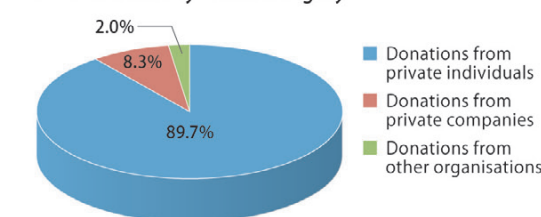
当期は減収となったものの、プログラム支援金は、前年度の水準を維持しました。

Thanks to continuous support by donors, Médecins Sans Frontières Japon (MSFJ) has grown steadily since 1999 when it was established as an NPO (See bar graph below). Despite the fact that there were no huge natural disasters in 2012, humanitarian crises have continued, including in South Sudan, Haiti and Syria. Throughout the year, MSFJ continued to contribute in a positive manner to MSF's global humanitarian work. Please find below the financial activities of MSFJ in terms of financial figures throughout 2012.

1. Donation revenues JPY 4.68 billion

Thanks to your continuous support, MSFJ received a total of JPY 4.68 billion of donations in 2012.

Breakdown of donations of JPY 4.68 billion by donor category



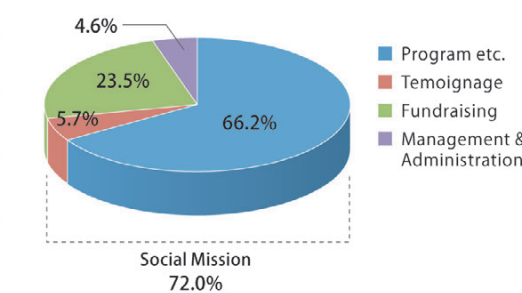
Private individuals	206,460
Private companies	7,952
Other organisations	2,086
Total number of donors	216,498

Donations from private individuals increased by 7.8%. MSFJ also received in-kind donations from many supporters.

2. Total operating expenditures were JPY 5.02 billion

In 2012, MSFJ allocated funds totaling 5.02 billion yen for the activities listed on the right. Since gross expenditure increased 1.5% compared with the previous year in spite of the decrease in income, the balance shows a 340 million yen deficit. MSF has a policy that it evaluates the level of urgency and local medical needs and raises funds which will not exceed the budget required for each activity. In 2012, while there was a growing concern in Japan towards the recovery efforts after the East Japan disaster, MSFJ retained the above policy and did not perform a disaster-related fundraising campaign. We analyse that this was one of the causes of the decrease in income.

Breakdown of total expenditures of JPY 5.02 billion



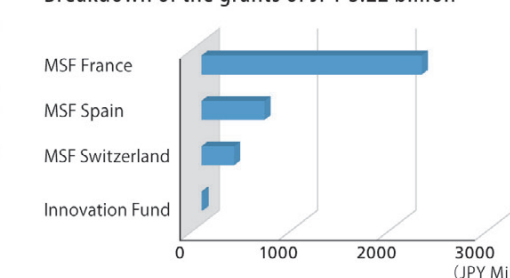
	(JPY Mil)
① Program & program support	3,322
・Program (Grants)	3,221
・HQ Program support, etc.	102
② Temoignage	286
③ Social Mission (①+②)	3,609
④ Fundraising	1,177
⑤ Management & General Admin.	229
Total (③+④+⑤)	5,015

*See Financial Statements (P.24-P.31) for further details.

3. MSFJ allocated JPY 3.22 billion to the grants to the field

MSF has five operational centres which run programmes in the field. MSFJ has partnership agreements with MSF France, MSF Spain and MSF Switzerland. Under these agreements MSFJ sent grants amounting to JPY 3.22 billion to humanitarian aid programmes over the world.

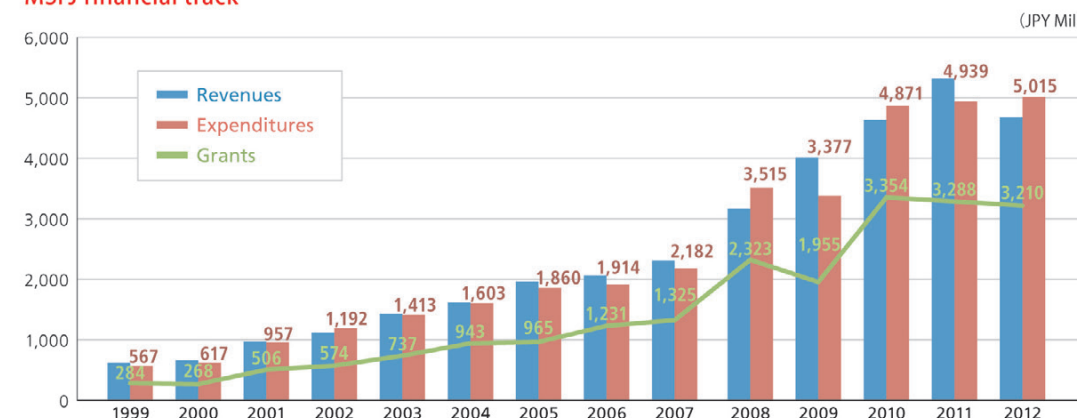
Breakdown of the grants of JPY 3.22 billion



	(JPY Mil)
MSF France	2,240
MSF Spain	640
MSF Switzerland	331
Innovation Fund	10

*See P.21 for further details of grant allocation by country for 2012.

MSFJ financial track



Even though we saw revenue decrease for this fiscal year, the level of grant contributions was maintained at the same level as the previous year.

財務の概況

2012年度のMSF日本の人道援助活動を財務的に総括しますと、総収入は、46億7925万円で、前期比で12.0%減少しました。一方、総支出は50億1501万円で、前期比で7517万円(1.5%)増加しました。総活動費の内訳は、ソーシャル・ミッション費として36億877万円(レシオは72.0%)、人道援助プログラム支援金として32億2082万円、国内外におけるプログラム等へのサポート活動費として1億156万円、広報活動費は2億8639万円でした。また、募金活動費は11億7691万円、マネジメントおよび一般管理費は2億2932万円でした。総収入は、前期比で減少したものの、プログラム支援金を前期並みに維持したため、当期の収支は3億3576万円の欠損となりました。各活動ごとの詳細は、本報告書に掲載の財務諸表のとおりです。

なお、プログラム支援金は、オペレーション事務局を経由して、コンゴ民主共和国(6億2409万円)、ハイチ(4億500万円)、ケニア(2億2000万円)、ヨルダン(2億円)、コロンビア(1億6021万円)を含む計27の国と地域で運営されている人道援助プログラムに配分しました。詳細はP.21付表1をご参照ください。

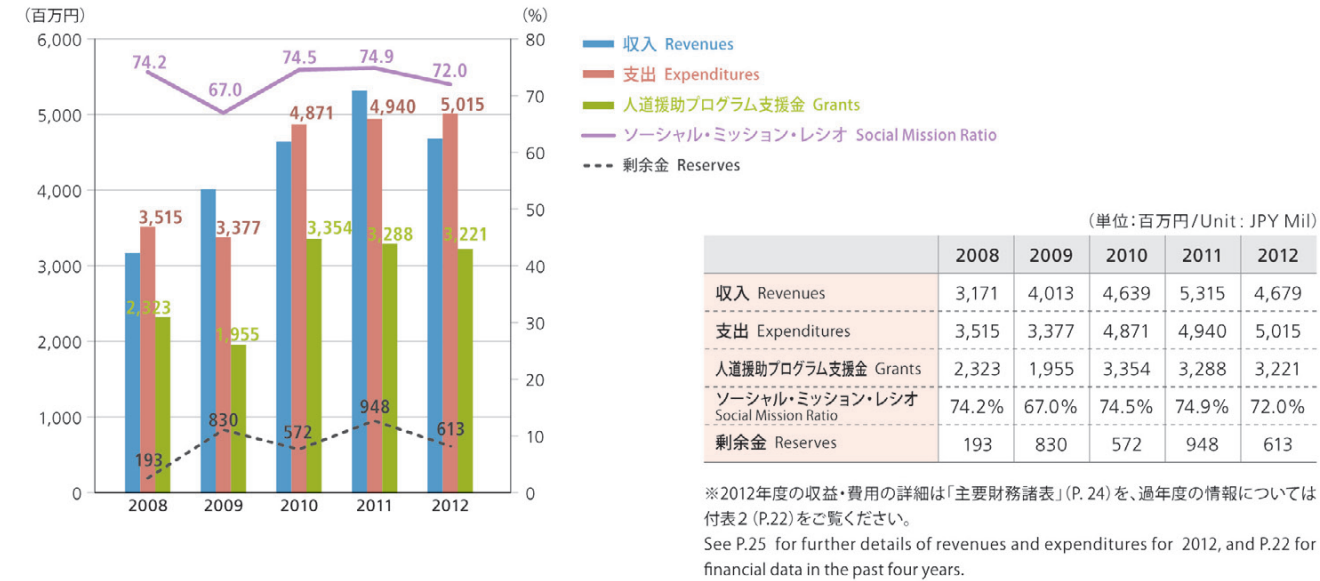
Financial Overview

The total revenues of 2012 decreased by 12.0% to JPY 4.68 billion. However, the total expenditures increased by 1.5% to JPY 5.02 billion. JPY3.6 billion (72.0%) was allocated to Social Mission, which consists of grants JPY3.22 billion, programme support JPY 102 million, temoignage JPY 286 million. JPY 1.18 billion was allocated to fundraising activities and JPY 229 million was spent on management and administrative costs. As a result MSFJ maintained the same level of grant contributions as the previous year despite a decrease in revenue. We posted a net deficit of JPY 336 million for this fiscal year. See the financial statements for further details by activity.

The grants were allocated through three operational centres, to the programmes operated in 27 countries, including Democratic Republic of the Congo (JPY 624 million), Haiti (JPY 405 million), Kenya (JPY 220 million), Jordan (JPY 200 million) and Colombia (JPY 160 million).

収入、支出、プログラム支援金、ソーシャル・ミッション・レシオおよび剰余金の推移

Track of Operating Revenues, Operating Expenditures, Grants, Social Mission Ratio and Reserves



2012年度は、プログラム支援の強化とともに、MSF日本の認知度向上を目標とした広報・証言活動にも注力しました。一方で増加する援助ニーズに対応するため、中長期ベースでの資金確保に向けての投資も行った結果、ソーシャル・ミッション・レシオは抑えられ、72.0%となりました。なお、期末時点での剰余金の水準は、年間国内経費の概ね4.3ヵ月相当でした。

In 2012, MSFJ reinforced not only grant contributions, but also the awareness raising to improve the recognition of MSFJ. Furthermore, MSFJ invested in fundraising to ensure enough funds for the increasing operational needs, on a short to mid term basis. These activities resulted in a decline of the social mission ratio to 72.0%. The level of reserves as of December 31, 2012 equates to approximately 4.3 months of the national expenditures of one year.

付表 1. MSF日本による2012年度人道援助プログラム支援金の配分先 MSFJ's Grants Allocation by Country in 2012

MSF日本が2012年度に拠出したプログラム支援金約32億円は、以下の国々で稼働中の各プログラムに配分されました。

The following table shows breakdown of where and what programme the grants provided by MSFJ, totaling JPY 3.2 billion, were utilized.

		(百万円 / JPY Mil)		
国 / 地域 Country / Region		2012	主要プログラム Major Programs Being Operated	オペレーション事務局 Operational Centers
				MSFフランス MSF France :FR MSFスペイン MSF Spain :SP MSFスイス MSF Switzerland :CH
アフリカ Africa				
コンゴ民主共和国	Democratic Republic of the Congo	624.1	紛争の避難民・負傷者の基礎医療提供 Healthcare for patients affected by conflicts	FR/SP/CH
ケニア	Kenya	220.0	ソマリア難民へのHIV等への医療提供 HIV care for refugees from Somalia	FR
ナイジェリア	Nigeria	160.0	外傷治療、栄養失調治療 Trauma and malnutrition treatment	FR
ソマリア	Somalia	116.6	避難民への栄養治療等医療提供 Health and nutrition programme for refugees	FR/SP
マラウイ	Malawi	100.0	感染症対策(HIV/エイズ治療等) Epidemic disease (HIV etc.)	FR
南スーダン	South Sudan	100.0	紛争避難民への一次・二次医療提供 Primary & secondary healthcare for refugees	FR/CH
チャド	Chad	85.6	小児栄養失調とマラリア対策 Medical care for malnutrition & Malaria	FR/CH
マリ	Mali	80.0	小児栄養失調治療と季節性マラリア予防 Pediatric malnutrition, seasonal malaria prevention	FR
スーダン	North Sudan	76.6	へき地住民への外来診療 Provision of medical care for the patients of rural region	SP
ブルキナファソ	Burkina Faso	70.0	重度小児栄養失調およびHIV/エイズ対策 Severe acute malnutrition and HIV	FR
エチオピア	Ethiopia	65.3	ソマリ州周辺の避難民への医療援助 Medical care for refugees around Somali region	SP
ウガンダ	Uganda	50.0	HIV/エイズ・結核治療、性暴力被害者ケア HIV, TB, sexual and gender-based violence	FR
ギニア	Guinea	50.0	感染症(HIV/エイズ・マラリア等)、母子保健医療 HIV, Malaria, healthcare for mothers & children	CH
コンゴ共和国	Republic of the Congo	50.0	コンゴ民主共和国難民への医療・飲料水提供 Medical care,water supply for DRC refugees	FR
スワジランド	Swaziland	20.0	感染症対策(HIV/エイズ・結核等) Epidemic disease (HIV, TB etc.)	CH
計 Total		1,868.2		
中南米 The Americas				
ハイチ	Haiti	405.0	震災復興およびコレラ対策 Reconstruction of health care system, medical care for cholera	FR/CH
コロンビア	Colombia	160.0	武力紛争による避難民への医療 Primary healthcare for refugees by conflict	FR/SP
計 Total		565.0		
中東 Middle East				
ヨルダン	Jordan	200.0	外科手術および理学療法による医療提供 Surgery and physiotherapy	FR
イエメン	Yemen	125.4	紛争の避難民への基礎医療 Primary healthcare for displaced refugees	FR/SP
パレスチナ	Palestine	71.9	外来診療および理学療法による治療 OPD consultation and physiotherapy care	SP
計 Total		397.3		
アジア Asia				
カンボジア	Cambodia	120.0	感染症対策(結核) Epidemic disease (TB)	FR
アルメニア	Armenia	85.0	感染症対策(結核／多剤耐性結核) Epidemic disease (TB, MDR)	FR
ミャンマー	Myanmar	40.0	HIV/エイズ・結核への基礎医療 Primary medical care for HIV, TB	CH
ラオス	Laos	15.0	プロジェクト立ち上げ(妊産婦、新生児への医療) Maternal Neonatal Child Healthcare	FR
北朝鮮	North Korea	10.0	基礎医療 Primary healthcare	CH
計 Total		270.0		
中央アジア・コーカサス Central Asia and the Caucasus				
ロシア	Russia	70.0	産科、小児科医療の提供 Gyneco-Obstetrics	FR
計 Total		70.0		
オセアニア Oceania				
バブアニューギニア	Papua New Guinea	40.0	妊産婦・新生児への保健医療 Maternal, Neonatal and Child Healthcare	FR
計 Total		40.0		
総計 Total		3,210.6		

付表 2. MSF日本の過年度の収益・費用 Operating Revenues & Expenditures for Past Years

		(単位:千円 / Unit: JPY thousand)				
主要財務項目 Major Accounts	事業年度 Accounting Year	2007	2008	2009	2010	2011
		自2007年 1月 1日 至2007年12月31日	自2008年 1月 1日 至2008年12月31日	自2009年 1月 1日 至2009年12月31日	自2010年 1月 1日 至2010年12月31日	自2011年 1月 1日 至2011年12月31日
寄付収入 Donations		2,308,287	3,136,827	4,012,438	4,636,197	5,312,364
個人寄付 From private individuals		2,123,867	2,900,262	3,640,651	4,029,690	4,663,051
一般法人寄付 From private companies		131,150	162,493	290,704	491,754	548,005
その他団体寄付 From other organizations		53,271	74,072	81,083	114,753	101,307
その他の収入 Other Revenues		2,849	34,773	1,482	3,030	3,402
利息収入 Interest income		704	17,809	338	405	1,940
講演会による収入 Lecture fee		525	463	719	1,508	438
会費収入 Membership fees		294	530	424	396	216
物品販売 From goods sales		829	433	-	-	-
その他 Exchange gains etc.		497	15,538	1	721	808
経常収益 合計 Total Operating Revenues		2,311,136	3,171,600	4,013,920	4,639,227	5,315,766
①ソーシャル・ミッション費 Social Mission Expenditures		1,531,773	2,609,648	2,262,528	3,630,551	3,699,177
援助活動費 Program & Program Support		1,401,770	2,405,857	2,053,769	3,442,260	3,432,815
人道援助プログラム支援金 Grants		1,325,000	2,323,044	1,955,751	3,354,216	3,288,270
その他の人道援助活動支援金 (DNDI) Other humanitarian activities (DNDI)		25,388	23,120	15,053	12,725	12,366
国内援助活動費 Domestic humanitarian activities		3,174	-	-	-	67,259
人件費 Personnel expenses		34,957	42,320	53,272	49,361	42,223
旅費交通費 Travel expenses		2,166	3,096	2,792	2,354	2,926
その他(家賃、減価償却費等) Office rent, depreciation etc.		11,085	14,278	26,901	23,604	19,771
広報活動費 Awareness-raising / Temoignage		130,004	203,791	208,759	188,291	266,363
必須医薬品キャンペーン支援金 Campaign for Access to Essential Medicines		8,949	12,287	9,633	9,993	20,645
人件費 Personnel expenses		29,660	41,071	38,397	56,936	76,398
広告宣伝費等 Advertisement etc.		44,400	37,874	36,418	42,990	79,603
ニュースレター等費用 Newsletter etc.		20,788	46,801	79,942	38,993	43,770
業務手数料等 Commissions etc.		7,318	31,372	15,144	13,831	10,476
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等) Office rent, travel & depreciation etc.		18,889	34,385	29,224	25,548	35,471
②募金活動費 Fundraising		536,052	775,207	974,702	1,084,035	1,032,429
人件費 Personnel expenses		47,657	44,168	66,139	57,070	73,245
ダイレクトメール、ニュースレター等費用 Direct mail & newsletter related cost		343,684	515,302	682,067	814,343	712,780
業務手数料等 Commissions etc.		61,147	116,195	141,568	135,859	150,865
搬送費・電郵費 Mailing, delivery & telecommunication		15,694	20,352	24,015	31,701	35,955
印刷費 Printing fee		9,864	14,502	13,617	20,024	18,737
広告宣伝費等 Advertisement etc.		29,497	47,470	17,756	1,330	10,602
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等) Office rent, travel & depreciation etc.		28,509	17,218	29,540	23,708	30,245
③マネジメントおよび一般管理費 Management & General Admin.		114,455	130,542	139,943	157,398	208,232
MSFインターナショナル事務局経費 MSF International Office		18,036	23,254	21,668	24,817	46,392
人件費 Personnel expenses		56,728	55,564	66,619	82,842	86,655
MSF韓国事務所活動支援金 Contribution to MSFK office		-	-	-	-	32,535
業務手数料等 Commissions etc.		11,070	13,407	7,183	12,104	7,735
アソシエーション関連経費 Association related expenses		6,279	8,240	8,623	9,768	9,377
減価償却費 Depreciation		5,845	6,816	7,515	4,448	4,576
旅費交通費 Travel expenses		2,627	2,531	2,150	3,524	3,444
その他(家賃等) Office rent etc.		13,870	20,730	26,185	19,895	17,518
経常費用 合計 (①+②+③) Total Operating Expenditures		2,182,280	3,515,398	3,377,172	4,871,984	4,939,839
経常外収益(寄付金) Non-operating Revenues		-	63,668	-	-	-
経常外費用(租税) Non-operating Expenses		-	-	-	24,566	-
一般正味財産増減額 Net Assets Increase		128,856	△ 280,130	636,748	△ 257,322	375,927
一般正味財産期末残高 Accounting Reserves		473,616	193,486	830,234	572,911	948,838

ソーシャル・ミッション・レシオ Social Mission Ratio	70.1%	74.2%	67.0%	74.5%	72.0%
--------------------------------------	-------	-------	-------	-------	-------

人道援助プログラム支援金の分配実績 Performance of Grants Allocation							
MSFフランス MSF France	2008年以降/パートナーシップ	1,000,000	1,587,000	1,315,000	2,040,000	2,298,285	
MSFスペイン MSF Spain	2008年以降/パートナーシップ	80,000	687,000	624,315	1,040,000	980,000	
MSFスイス MSF Switzerland		150,000	33,404	4,281	-	-	
MSFベルギー MSF Belgium		50,000	-	-	-	-	
MSFオランダ MSF Holland		45,000	-	-	-	-	
緊急支援 Emergency Program		-	-	-	263,941	-	
イノベーション・ファンド Innovation Fund		-	15,640	12,155	10,275	9,985	
総計 Total		1,325,000	2,323,044	1,955,751	3,354,216	3,288,270	

独立監査人の監査報告書

2013年3月19日

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

会長 黒 崎 伸 子 殿

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業 務 執 行 社 員

公認会計士 高橋 宏

＜財務諸表監査＞

当監査法人は、特定非営利活動法人 国境なき医師団日本の2012年1月1日から2012年12月31日までの2012年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録について監査を行った。

財務諸表に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

[English Translation of the Auditors' Report Originally Issued in the Japanese Language]

Independent Auditors' Report

19.Mar.13

Ms. Nobuko Kurosaki, the president
Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon:

KPMG AZSA LLC

Hiroshi Takahashi (Seal)
Designated Limited Liability Partner
Engagement Partner
Certified Public Accountant

We have audited the financial statements, comprising the balance sheet, the statement of financial activities, the statement of cash flows and the summary of assets and the related notes of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon as of and for the year ended December 31, 2012.

Management's Responsibility for the Financial Statements and Others

Management is responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with accounting principles of public interest corporation generally accepted in Japan, and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of financial statements that free from material misstatements, whether due to fraud or error.

Auditor's Responsibility

Our responsibility is to express an opinion on the financial statements based on our audit as independent auditor. We conducted our audit in accordance with auditing standards generally accepted in Japan. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial statements are free from material misstatement.

An audit involves performing procedures to obtain audit evidence about the amounts and disclosures in the financial statements. The procedures selected depend on our judgment, including the assessment of the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error. In making those risk assessments, we consider internal control relevant to the entity's preparation and fair presentation of the financial statements in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, while the objective of the financial statement audit is not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the entity's internal control. An Audit also includes evaluating the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates made by management, as well as evaluating the overall presentation of the financial statements. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis of our audit opinion.

Opinion

In our opinion, the financial statements referred to above present fairly, in all material respects, the financial position and the results of operations of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon for the period, for which the financial statements were prepared, in accordance with accounting principles of public interest corporation generally accepted in Japan.

Other Matter

Our firm and engagement partners have no interest in Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon which should be disclosed pursuant to the provisions of the Certified Public Accountants Law of Japan.

Notes to the Reader of Independent Auditors Report:

The Independent Auditor's Report here is the English translation of the Independent Auditor's Report as required by our contract.

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

正味財産増減計算書

自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日

(単位:円)

科 目	2012年度		2011年度		増 減 比率	
	金 額	構成比	金 額	構成比		
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益		(注5)		(注5)		
① 寄付収入	4,666,644,220	100.0%	5,312,363,853	100.0%	△ 645,719,633	-12.2%
一般個人寄付(注1)	4,187,853,959	89.7%	4,663,050,892	87.8%	△ 475,196,933	-10.2%
一般法人寄付(注1)	385,739,213	8.3%	548,005,381	10.3%	△ 162,266,168	-29.6%
その他団体寄付(注1)	93,051,048	2.0%	101,307,580	1.9%	△ 8,256,532	-8.1%
③ MSF韓国からのグラント	10,598,401		-		10,598,401	-
② その他の収入	2,012,380		3,401,924		△ 1,389,544	-40.8%
講演会による収入	982,094		1,939,568		△ 957,474	-49.4%
会費収入	378,877		438,000		△ 59,123	-13.5%
利息収入	197,359		216,179		△ 18,820	-8.7%
その他	454,050		808,177		△ 354,127	-43.8%
経常収益 合計	4,679,255,001		5,315,765,777		△ 636,510,776	-12.0%
(2) 経常費用		(注5)		(注5)		
■ ソーシャル・ミッション (①+②)	3,608,777,023	72.0%	3,699,177,215	74.9%	△ 90,400,192	-2.4%
① 援助活動費	3,322,383,978	66.2%	3,432,814,521	69.5%	△ 110,430,543	-3.2%
人道援助プログラム支援金(注2)	3,220,821,824		3,288,269,993		△ 67,448,169	-2.1%
その他の人道援助活動支援金(注3)	15,637,153		12,365,717		3,271,436	26.5%
人件費	50,351,150		42,223,317		8,127,833	19.2%
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	35,573,851		22,696,596		12,877,255	56.7%
東日本大震災プログラムへのサポート等	-		67,258,898		△ 67,258,898	-100.0%
② 広報活動費	286,393,045	5.7%	266,362,694	5.4%	20,030,351	7.5%
必須医薬品キャンペーン支援金	17,833,500		20,645,279		△ 2,811,779	-13.6%
人件費	89,978,258		76,398,431		13,579,827	17.8%
印刷費	44,467,440		4,549,225		39,918,215	-
広告宣伝費等	40,915,665		79,603,393		△ 38,687,728	-48.6%
ニュースレター等費用	42,730,077		43,770,268		△ 1,040,191	-2.4%
業務手数料等	14,850,412		10,476,017		4,374,395	41.8%
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	35,617,693		30,920,081		4,697,612	15.2%
■ 募金活動費	1,176,912,035	23.5%	1,032,429,419	20.9%	144,482,616	14.0%
人件費	78,402,188		73,245,448		5,156,740	7.0%
ダイレクトメール、ニュースレター等費用	843,069,450		712,779,747		130,289,703	18.3%
業務手数料等	150,151,729		150,865,142		△ 713,413	-0.5%
通信および搬送費	36,916,740		35,954,740		962,000	2.7%
印刷費	13,828,838		18,736,638		△ 4,907,800	-26.2%
広告宣伝費	15,627,442		10,601,784		5,025,658	47.4%
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	38,915,648		30,245,920		8,669,728	28.7%
■ マネジメントおよび一般管理費	229,324,555	4.6%	208,232,199	4.2%	21,092,356	10.1%
人件費	86,686,996		86,655,138		31,858	0.0%
MSFインターナショナル事務局経費	39,667,152		46,391,549		△ 6,724,397	-14.5%
アソシエーション関連経費(人件費以外)	9,374,001		9,377,132		△ 3,131	-0.0%
MSF韓国事務所活動支援金	52,341,614		32,534,875		19,806,739	60.9%
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	41,254,792		33,273,505		7,981,287	24.0%
経常費用 合計	5,015,013,613	100.0%	4,939,838,833	100.0%	75,174,780	1.5%
一般正味財産当期増減額	△ 335,758,612	-	375,926,944	-	△ 711,685,556	-
一般正味財産期首残高	948,838,412	-	572,911,468	-	375,926,944	65.6%
一般正味財産期末残高	613,079,800	-	948,838,412	-	△ 335,758,612	-35.4%
II. 指定正味財産増減の部						
1. 収入の部:使途指定寄付金収入(注4)	76,306,499	-	104,040,493	-	△ 27,733,994	-26.7%
2. 支出の部:一般正味財産への振替額(注4)	76,306,499	-	104,040,493	-	△ 27,733,994	-26.7%
指定正味財産当期増減額	-	-	-	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-
III. 次期繰越正味財産期末残高	613,079,800	-	948,838,412	-	△ 335,758,612	-35.4%

(注1) 指定正味財産増減の部(注4)からの振り替え分、および現物寄付(計21,941,603円)を含む。
(注2) 当期において、MSFフランス、MSFスペインおよびMSFスイスが運営する人道援助プログラムに配分した。
(注3) DNDi (非営利団体「顧みられない病気のための新薬イニシアティブ」)に対する活動支援金。
(注4) 使途指定寄付金は、すべて当期中にMSFフランスおよびMSFスペイン経由で、指定されたプログラムへ割り当てた。
(注5) 上掲の計算書に記載した比率はそれぞれ、寄付収入に関しては支援者別の構成比、また、経常費用の各活動ごとの比率は、経常費用合計に対する割合。
2012年度のソーシャル・ミッション・レシオは、上記のとおり72.0%であった。

[English Translation of the Statement of Financial Activities Originally Issued in Japanese Language]
Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon

Statement of Financial Activities

For the year ended December 31, 2012

(Unit: JPY)

Title	2012		2011		Change	
	Amount	Ratio	Amount	Ratio		
I. Non-earmarked Net Assets Changes						
1. Changes in Operating Item						
(1) Operating Revenues		(※5)		(※5)		
① Donations	4,666,644,220	100.0%	5,312,363,853	100.0%	(645,719,633)	(12.2%)
Donations from private individuals(※1)	4,187,853,959	89.7%	4,663,050,892	87.8%	(475,196,933)	(10.2%)
Donations from private companies(※1)	385,739,213	8.3%	548,005,381	10.3%	(162,266,168)	(29.6%)
Donations from other organizations(※1)	93,051,048	2.0%	101,307,580	1.9%	(8,256,532)	(8.1%)
③ Grants from MSF South Korea	10,598,401		-		10,598,401	-
② Other Revenues	2,012,380		3,401,924		(1,389,544)	(40.8%)
Lecture fee	982,094		1,939,568		(957,474)	(49.4%)
Membership fees	378,877		438,000		(59,123)	(13.5%)
Interest income	197,359		216,179		(18,820)	(8.7%)
Others	454,050		808,177		(354,127)	(43.8%)
Total Operating Revenues	4,679,255,001		5,315,765,777		(636,510,776)	(12.0%)
(2) Operating Expenditures		(※5)		(※5)		
■ Social Mission Expenditures (①+②)	3,608,777,023	72.0%	3,699,177,215	74.9%	(90,400,192)	(2.4%)
① Program & Program Support	3,322,383,978	66.2%	3,432,814,521	69.5%	(110,430,543)	(3.2%)
Financial contribution to operational centers (Grants)(※2)	3,220,821,824		3,288,269,993		(67,448,169)	(2.1%)
Other humanitarian activities (DNDi)(※3)	15,637,153		12,365,717		3,271,436	26.5%
Personnel expenses	50,351,150		42,223,317		8,127,833	19.2%
Others (Office rent, travel and depreciation etc.)	35,573,851		22,696,596		12,877,255	56.7%
Support to East Japan missions	-		67,258,898		(67,258,898)	(100.0%)
② Awareness-raising / Temoignage	286,393,045	5.7%	266,362,694	5.4%	20,030,351	7.5%
Contribution to Campaign for Access to Essential Medicines	17,833,500		20,645,279		(2,811,779)	(13.6%)
Personnel expenses	89,978,258		76,398,431		13,579,827	17.8%
Printing fee	44,467,440		4,549,225		39,918,215	-
Advertisement etc.	40,915,665		79,603,393		(38,687,728)	(48.6%)
Newsletter etc.	42,730,077		43,770,268		(1,040,191)	(2.4%)
Commissions etc.	14,850,412		10,476,017		4,374,395	41.8%
Others (Office rent, travel and depreciation etc.)	35,617,693		30,920,081		4,697,612	15.2%
■ Fundraising	1,176,912,035	23.5%	1,032,429,419	20.9%	144,482,616	14.0%
Personnel expenses	78,402,188		73,245,448		5,156,740	7.0%
Direct mail and newsletter related cost	843,069,450		712,779,747		130,289,703	18.3%
Commissions etc.	150,151,729		150,865,142		(713,413)	(0.5%)
Mailing, delivery and telecommunication	36,916,740		35,954,740		962,000	2.7%
Printing fee	13,828,838		18,736,638		(4,907,800)	(26.2%)
Advertisement	15,627,442		10,601,784		5,025,658	47.4%
Others (Office rent, travel and depreciation etc.)	38,915,648		30,245,920		8,669,728	28.7%
■ Management & General Administration	229,324,555	4.6%	208,232,199	4.2%	21,092,356	10.1%
Personnel expenses	86,686,996		86,655,138		31,858	0.0%
Contributions to MSF International Office	39,667,152		46,391,549		(6,724,397)	(14.5%)
Association related expenses (except personnel)	9,374,001		9,377,132		(3,131)	0.0%
Contributions to MSF South Korea	52,341,614		32,534,875		19,806,739	60.9%
Others (Office rent, travel and depreciation etc.)	41,254,792		33,273,505		7,981,287	24.0%
Total Operating Expenditures	5,015,013,613	100.0%	4,939,838,833	100.0%	75,174,780	1.5%
Increase in Non-earmarked Net Assets	(335,758,612)	-	375,926,944	-	(711,685,556)	-
Non-earmarked Net Assets at Beginning of Year	948,838,412	-	572,911,468	-	375,926,944	65.6%
Non-earmarked Net Assets at End of Year	613,079,800	-	948,838,412	-	(335,758,612)	(35.4%)
II. Earmarked Net Assets Changes						
1. Revenues: Earmarked Donations(※4)	76,306,499	-	104,040,493	-	(27,733,994)	(26.7%)
2. Expenditures: Transfer to Non-earmarked Net Assets Changes(※4)	76,306,499	-	104,040,493	-	(27,733,994)	(26.7%)
Changes in Earmarked Net Assets	-	-	-	-	-	-
Earmarked Net Assets at Beginning of Year	-	-	-	-	-	-
Earmarked Net Assets at End of Year	-	-	-	-	-	-
III. Net Assets at End of Year to be carried forward	613,079,800	-	948,838,412	-	(335,758,612)	(35.4%)

Notes: (※1) Transfers from "Earmarked Net Assets Changes" and in-kind donations of JPY 21,941,603 are included.
(※2) Funds which were contributed to the humanitarian aid programs operated by MSF France, MSF Spain and MSF Switzerland in 2012.
(※3) DNDi: Drugs for Neglected Diseases initiative
(※4) Earmarked donations were allocated to the designated programs through MSF France and MSF Spain.
(※5) Ratios shown in the columns of Operating Revenues and Expenditures are ratios to total donations and total expenditures respectively.
The social mission ratio of 2012 is 72.0% as shown in the above statement.

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

貸借対照表

平成24年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	増 減 比
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金および預金	747,718,815	1,104,245,083	△ 356,526,268	-32.3%
未収入金(注1)	86,149,908	83,273,821	2,876,087	3.5%
前払費用	6,629,114	6,109,482	519,632	8.5%
立替金	72,918,200	83,119,396	△ 10,201,196	-12.3%
その他流動資産	1,447,719	1,874,792	△ 427,073	-22.8%
貸倒引当金	△ 517,000	△ 500,000	△ 17,000	3.4%
流動資産合計	914,346,756	1,278,122,574	△ 363,775,818	-28.5%
2. 固定資産				
建物附属設備	13,042,732	16,647,006	△ 3,604,274	-21.7%
事務用什器・備品	9,454,398	12,718,075	△ 3,263,677	-25.7%
ソフトウェア	16,468,946	24,892,987	△ 8,424,041	-33.8%
長期差入保証金	30,019,970	30,649,970	△ 630,000	-2.1%
固定資産合計	68,986,046	84,908,038	△ 15,921,992	-18.8%
資産合計	983,332,802	1,363,030,612	△ 379,697,810	-27.9%
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金(注2)	353,810,002	398,631,712	△ 44,821,710	-11.2%
預り金等	1,049,800	905,885	143,915	15.9%
短期リース債務	-	1,087,503	△ 1,087,503	-100.0%
流動負債合計	354,859,802	400,625,100	△ 45,765,298	-11.4%
2. 固定負債				
退職給付引当金	15,393,200	13,567,100	1,826,100	13.5%
固定負債合計	15,393,200	13,567,100	1,826,100	13.5%
負債合計	370,253,002	414,192,200	△ 43,939,198	-10.6%
III. 正味財産の部				
一般正味財産	613,079,800	948,838,412	△ 335,758,612	-35.4%
正味財産合計	613,079,800	948,838,412	△ 335,758,612	-35.4%
負債および正味財産合計	983,332,802	1,363,030,612	△ 379,697,810	-27.9%

(注1) 外部の委託業者により支援者からの回収が済んでいる寄付金(支援者口座からの引落しは、期末日までに完了)のうち、期末現在、同委託業者から未入金のもの。
(注2) MSFフランス、MSFスペイン、MSFスイスおよびMSFインターナショナル事務局に対する、プログラム支援金等の未送金分 227,110,705円を含む。

[English Translation of the Balance Sheet Originally Issued in Japanese Language]
Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon

Balance Sheet

(As of December 31, 2012)

(Unit: JPY)

Title	2012	2011	Changes	Ratio
I. Assets				
1. Current Assets				
Cash and cash equivalents	747,718,815	1,104,245,083	(356,526,268)	(32.3%)
Accounts receivable(*1)	86,149,908	83,273,821	2,876,087	3.5%
Prepaid expenses	6,629,114	6,109,482	519,632	8.5%
Advances	72,918,200	83,119,396	(10,201,196)	(12.3%)
Other current assets	1,447,719	1,874,792	(427,073)	(22.8%)
Bad debt allowance	(517,000)	(500,000)	(17,000)	3.4%
Total Current Assets	914,346,756	1,278,122,574	(363,775,818)	(28.5%)
2. Non Current Assets				
Building structures	13,042,732	16,647,006	(3,604,274)	(21.7%)
Office equipment and fixtures	9,454,398	12,718,075	(3,263,677)	(25.7%)
Software	16,468,946	24,892,987	(8,424,041)	(33.8%)
Long-term deposit	30,019,970	30,649,970	(630,000)	(2.1%)
Total Non Current Assets	68,986,046	84,908,038	(15,921,992)	(18.8%)
Total Assets	983,332,802	1,363,030,612	(379,697,810)	(27.9%)
II. Liabilities				
1. Current Liabilities				
Accounts payable(*2)	353,810,002	398,631,712	(44,821,710)	(11.2%)
Deposits received	1,049,800	905,885	143,915	15.9%
Short-term lease obligation	-	1,087,503	(1,087,503)	(100.0%)
Total Current Liabilities	354,859,802	400,625,100	(45,765,298)	(11.4%)
2. Non Current Liabilities				
Provision for retirement benefits	15,393,200	13,567,100	1,826,100	13.5%
Total Non Current Liabilities	15,393,200	13,567,100	1,826,100	13.5%
Total Liabilities	370,253,002	414,192,200	(43,939,198)	(10.6%)
III. Net Assets				
Non-earmarked Net Assets	613,079,800	948,838,412	(335,758,612)	(35.4%)
Total Net Assets	613,079,800	948,838,412	(335,758,612)	(35.4%)
Total Liabilities and Net Assets	983,332,802	1,363,030,612	(379,697,810)	(27.9%)

Notes:(*1) Balance of the outstanding donations as of December 31, 2012, which were already debited from donors' bank accounts, however not yet arrived at our bank account due to the procedures of transfer by our outside agent vendor.
(*2) The grants payable amounting JPY 227,110,705, for MSF France, MSF Spain, MSF Switzerland and MSF International office.

財務諸表への注記

1. 財務諸表の作成基準

国境なき医師団日本(Médecins Sans Frontières Japon、以下「MSF日本」)の財務諸表は、日本において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準(平成16年10月14日改正)に基づいて作成されている。同基準は国際財務報告基準(International Financial Reporting Standards)が求める適用要件や開示上の要件とは、いくつかの点で相違している。なお、活動費用の各事業活動別の分類および会計処理の表示については、MSF各事務局との間で共通して適用する「MSF International Accounting Standards」に準拠している。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産
定額法によっている。(耐用年数は建物附属設備および什器は3～5年、器具備品およびビデオ機器は3年)
- ②ソフトウェア
定額法によっている。(耐用年数は3年)

(2) 引当金の計上基準

- ①貸倒引当金
未収入金の貸倒損失に備えるため、期末債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上している。
- ②退職給付引当金
職員に対する退職金の支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。

(3) 収益の認識

寄付収入は原則として、現金主義に基づき認識している。ただし、回収代行委託に係る一部の未収寄付金については、支援者の口座からの引き落としが当該事業年度内に完了し、かつ委託業者からの計算書により回収額およびMSF日本への入金時期が確定しているものについては、当期の収益として認識している。

現物寄付の扱い

MSF日本は金銭以外にも、現物寄付として、ICT機器、ソフトウェア、切手等、およびプロボノによる役務の提供による支援を受けている。これらの現物寄付は、取得時に合理的に価額を見積もり"寄付収入"として認識し、それらを事業供用する時点で費用として計上している。マイレージ寄付については、航空券への振り替えの時点で、収益と費用を計上している。なお、合理的な金額の見積もりが困難な、プロボノによる役務提供については、簿外処理をしている。

(4) 経常費用について

費用については、主要な4事業活動別に区分して表示している。なお、各事業活動に共通する間接経費については、年間実労働時間に基づいて算出した各事業活動別の総職員数で按分し、それぞれ以下の4事業活動に配分している。

4-1) 人道援助活動費

海外での人道援助プログラム支援金
パートナーシップ関係を結ぶオペレーション事務局である、MSFフランス、MSFスペインおよびMSFスイスが世界各国・地域で運営する人道援助プログラムに支援金を配分している。

その他の人道援助活動支援金
非営利団体「顧みられない病気のための新薬イニシアティブ(DNDi: Drugs for Neglected Diseases initiative)」に対する資金援助。2014年まで継続。

海外での人道援助プログラムに対する、日本国内でのサポート活動
MSF日本は5つのオペレーション事務局の人材ニーズに応じ、フィールドにて人道援助プログラムに従事するスタッフの採用手続き・海外派遣説明会を実施するとともに、ビザ取得等の渡航準備、および各種の渡航前国内トレーニングを実施した後海外現地に派遣している。

4-2) 広報活動費

MSF日本は主要なミッションの一つとして、世界各地での人道的医療援助活動の現場での最新情報について、出版物、ウェブサイト、展示会ならびに各メディアを通して、既存の支援者および一般社会等に対して周知活動を行っている。

必須医薬品キャンペーン(Campaign for Access to Essential Medicines)への資金援助
同キャンペーンは、MSFが1999年以来世界規模で展開しているもので、さまざまな感染症で苦しむ人びとに安価で効果的な治療薬を提供できるよう、各国政府、国際機関、製薬会社に対して働き掛けを行っている。MSF日本も他の事務局とともに応分の資金援助をしており、取りまとめはMSFインターナショナル事務局が行っている。

4-3) 募金活動費

MSF日本は、援助活動にあてる十分な資金を確保するため、さらなる支援者を募ることを目的として、夏冬のダイレクトメールおよびニュースレターによる募金キャンペーン等を行っている。

4-4) マネジメントおよび一般管理費

マネジメント経費、および人事・財務・経理・総務・ICT等の管理部門の間接経費である。ほかにMSFインターナショナル事務局の経費負担分を含む。同事務局はネットワークで結ばれたMSF全事務局およびその他の関連組織との間の調整業務を担う組織で、その運営費については、全事務局が応分の負担をしている。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

(追加情報)

当事業年度の期首以後に行われる、会計上の変更および過去の誤謬の訂正に対しては、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成21年12月4日)を適用する。

3. 基本財産および特定財産の増減額およびその内訳

指定正味財産・一般財産として受け入れた資産のうち、基本財産および特定資産として区分・運用しているものはない。

4. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

5. 固定資産の取得価額・減価償却累計額および当期末残高

(単位:円)			
科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	47,554,645	34,511,913	13,042,732
事務用什器・備品	46,086,343	36,631,945	9,454,398
什器	13,098,958	10,765,120	2,333,838
器具・備品	30,074,225	23,478,726	6,595,499
ビデオ機器	2,913,160	2,388,099	525,061
ソフトウェア	46,598,515	30,129,569	16,468,946
償却資産 計	140,239,503	101,273,427	38,966,076
リース資産(ドナー情報管理システム)	59,382,251	59,382,251	-
総 計	199,621,754	160,655,678	38,966,076

6. 未払金の当期末残高

未払金の主要なものは、以下のとおりである。

(単位:円)			
相 手 先	金 額	相手先	金 額
MSFフランス	140,000,000	MSFスイス	30,598,401
MSFスペイン	40,000,000	その他	143,211,601
		合 計	353,810,002

7. 退職給付引当金

(1) 採用している退職給付金制度の概要

内部規定に基づき、退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務 15,393,200 円、退職給付引当金 15,393,200 円

(3) 退職給付費用

4,826,300 円

8. 保証債務等の偶発債務

該当事項はない。

9. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

該当事項はない。

10. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

11. 重要な後発事象

該当事項はない。

12. 2012年度、MSFオペレーション事務局に対するプログラム支援金等の配分実績

グラントの配分は、資金配分協定(Resource Sharing Agreement 2)に基づくものである。

(単位:円)				
	個人からの寄付 注)	法人等からの寄付	MSF 韓国からのグラント	合 計
プログラム支援金の配分先	2,870,400,000	329,600,000	10,598,401	3,210,598,401
MSFフランス	2,009,280,000	230,720,000	-	2,240,000,000
MSFスペイン	574,080,000	65,920,000	-	640,000,000
MSFスイス	287,040,000	32,960,000	10,598,401	330,598,401
MSFインターナショナル事務局(イノベーション・ファンドとして)				10,223,423
支援金合計				3,220,821,824

注)「個人からの寄付」、「法人等からの寄付」の区分は按分計算によるものである。

13. その他

MSF韓国は、MSF日本のサブオフィスとして、2012年度期首より事業を開始した。MSF日本はMSF韓国に対し、当期において活動支援費として、計52,341,614円を拠出した。2012年度の、韓国内での寄付収入は10,598,401円であった。同寄付金は、グラントとしてMSF日本がいったん回収し、当期において全額MSFスイスの援助プログラムへ配分した。(上記注記12参照)

Notes to Financial Statements

1. Basis for presenting the Financial Statements

The financial statements of Médecins Sans Frontières Japon (hereinafter "MSFJ") have been prepared in accordance with the Accounting Standards of Public Interest Corporation generally accepted in Japan (revised in October 14, 2004), which are different in certain respects in terms of application and disclosure requirements from International Financial Reporting Standards (IFRS). Detailed methods of description of the result of accounting, such as classification of expenses by activity, are prepared in compliance with MSF International Accounting Standards, which are applicable for all of MSF related entities.

2. Summary of Significant Accounting and Reporting Policies

(1) Method of depreciation of Tangible Fixed Assets and Software

Depreciation is calculated on a straight-line basis over the expected useful lives of the assets.

Category of Fixed Assets	Period	Category of Fixed Assets	Period
Building structures	3-5 years	Equipment and fixtures	3 years
Furniture	3-5 years	Software	3 years

(2) Basis for recording provisions

① Bad debts allowance

MSFJ records bad debt allowance calculated based on certain ratio for the balance of receivables as of balance sheet date to cope with bad debts loss.

② Retirement benefits

In compliance with the internal "End of Service Payment Plan", MSFJ records the required amount of payment at year end to provide for the payments of retirement benefits to the staff.

(3) Recognition of Revenues

Donations are basically recognized on a cash basis, with exceptional cases where the donations are collected by the outsourced vendors, parts of which are recognized as receivables, subject to the fact that collection of donations from the individual donors' bank accounts have been completed before balance sheet date, and confirmation of the amounts and the payment date in writing. With regard to the in-kind donations which MSFJ usually receives as free provision of office equipment etc. or the services, we recognize revenues upon receipt based on the available market price, and recognize the expenses when being used for the humanitarian activities. In case of mileage donations, revenues and expenses are simultaneously recognized when the mileage is exchanged with the air tickets. However, regarding the professional services provided on pro-bono basis such as legal consultation etc., we have not presented them in our statements of financial activities due to difficulty in evaluation.

(4) Operating Expenditures

Expenditures are classified into four types of activities by nature as presented below. Expenses are allocated to each type. The overhead expenses are allocated to every activity by allocation key calculated based on the actual total working hours employed in one full year (FTE: Full Time Equivalent).

① Program & program support

a) Direct financial support to the field (Grants)

This is related to the grants allocated to each operational program located in the countries through Operational Centers such as MSF France, MSF Spain and MSF Switzerland in this fiscal year, according to finance agreement signed under the current "Resource Sharing Agreement 2".

b) Other humanitarian activities

Financial support to DNDi (Drugs for Neglected Diseases initiative) until 2014.

c) Program support implemented by MSFJ office

Program support includes the costs of activities for recruiting field staff for the program operations, arranging required training sessions as well as preparing for the departures to the fields outside of Japan.

② Awareness-raising activities

This includes all expenses incurred in connection with MSFJ's advocacy activities. Information is provided about our current activities at each program site. This information is disseminated via publications, our website, exhibitions and the other media.

Financial support to Campaign for Access to Essential Medicines

The Campaign has been implemented by MSF since 1999 worldwide. Its mission is to address governments, international organizations and pharmaceutical companies in order to provide people suffering from infectious diseases with affordable and effective medicine. MSFJ is providing funds along with other MSF sections under the coordination of the MSF International office.

③ Fundraising activities

MSFJ implements fundraising activities to assure sufficient funding for our operations. For this purpose, MSFJ launches several fundraising campaigns such as direct mailing and newsletter mailings.

④ Management and administrative expenses

This includes expenses incurred for executive management as well as the overhead expenses for the administration of the MSFJ office, including human resources, finance and ICT. Financial contribution shared by all MSF offices for the operating expenses of MSF International office is also included. MSF International office provides the all MSF offices with the coordination services.

(5) Computation of Consumption Tax

All amounts stated are inclusive of national consumption tax and local consumption tax.

(Additional Information)

"Accounting Standard for Accounting Changes and Error Corrections" (Accounting Standards Board of Japan, Statement No.24 issued on December 4, 2009) and "Guidance on Accounting Standard for Accounting Changes and Error Corrections" (Accounting Standards Board of Japan, Guidance No.24 issued on Dec4, 2009) have been adopted for the accounting changes and the prior period error corrections to be made after the beginning of the financial year ended December 31, 2012.

3. Changes, balances and breakdown of the endowment and the special funds

MSFJ has no such assets as classified or invested in the endowment and the special funds, among the funds which were accepted as earmarked and/or non-earmarked net assets.

4. Assets pledged as security

N/A

5. Acquisition costs, accumulated depreciations and the carrying amounts of fixed assets at the end of current year

(Unit: in JPY)			
	Acquisition costs	Accumulated depreciation	Carrying amounts at the end of current year
Building structures	47,554,645	34,511,913	13,042,732
Office equipment and fixtures	46,086,343	36,631,945	9,454,398
Furniture	13,098,958	10,765,120	2,333,838
Equipment and fixtures	30,074,225	23,478,726	6,595,499
Video equipment	2,913,160	2,388,099	525,061
Software	46,598,515	30,129,569	16,468,946
Fixed assets without finance lease Total	140,239,503	101,273,427	38,966,076
Leased assets (Donor management system)	59,382,251	59,382,251	-
Grand Total	199,621,754	160,655,678	38,966,076

6. Balances of major payables at the end of current year

(Unit: in JPY)			
Customers / Vendors	Amount	Customers / Vendors	Amount
MSF France	140,000,000	MSF Switzerland	30,598,401
MSF Spain	40,000,000	Others	143,211,601
		Total	353,810,002

7. Retirement benefits

(1) The outline of the retirement benefit plan

MSFJ has adopted retirement benefit plan in accordance with the internal rule.

(2) Obligation for retirement benefit

Retirement benefits obligation : JPY15,393,200, Provision for retirement benefit : JPY15,393,200.

(3) Retirement benefits related expenses : JPY4,826,300

8. Contingent liabilities

N/A

9. Description and changes of the subvention etc. received in the current period

N/A

10. Description about the transactions with the related parties

N/A

11. Significant subsequent events

N/A

12. Contribution to MSF operational centers etc. in 2012

Grants contribution is implemented in compliance with the Resource Sharing Agreement 2.

(Unit: in JPY)				
	Donations from individuals(*)	Donations from companies etc.	Grants from MFSK	Total
Recipients of grants	2,870,400,000	329,600,000	10,598,401	3,210,598,401
MSF France	2,009,280,000	230,720,000		2,240,000,000
MSF Spain	574,080,000	65,920,000		640,000,000
MSF Switzerland	287,040,000	32,960,000	10,598,401	330,598,401
MSF International office (for innovation funds)				10,223,423
Total Grants				3,220,821,824

Remark

(*) The classification of "individuals" and "companies etc." is on a pro rata basis.

13. Others

MSF South Korea (hereinafter MSFK), as a sub office of MSFJ, started its humanitarian activity from the beginning of 2012. In 2012, MSFJ provided MSFK with financial support amounting to JPY 52,341,614. MSFK raised donations of JPY10,598,401 in South Korea in 2012. MSFJ collected these donations from MSFK and allocated all of them to the programs operated by MSF Switzerland in 2012. (See above notes 12.)

2012年、国境なき医師団(MSF)日本は創設20周年を迎えました。 2012 marked the 20th anniversary since the foundation of MSF Japan.

東京に初めて事務所を開設してから20年の間に、MSF日本は目覚ましい成長を遂げて、活動規模も拡大しました。現在は年間60人以上のスタッフを人道援助活動に派遣し、また日本からの資金はMSFが世界各地で活動する上で重要な役割を果たしています。この発展を踏まえ、また日本社会や政府、有識者との連携強化に向けて、2012年に書籍『人道的交渉の現場から—国境なき医師団の葛藤と選択』の日本語版を刊行しました。

In the two decades since the office opened in Tokyo the section has seen tremendous growth in terms of the activities carried out. Today we send more than 60 field workers on missions per year, and the money raised in Japan plays a key role in MSF activities globally. To reflect this growth, and in an effort to further engage with society, government and stakeholders in Japan, "Humanitarian Negotiations Revealed" was translated into Japanese and published.

国境なき医師団(MSF)日本の歩み History of MSF Japan

- 1992年 国境なき医師団(MSF)、東京に事務所を設置する。
MSF set up an office in Tokyo, Japan.
- 1999年 MSF日本、特定非営利活動法人(NPO法人)となる。
MSF Japan became a specified nonprofit organization.
- 2002年 MSF日本、認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)となる。
MSF Japan became a certified nonprofit organization.
- 2004年 MSF日本の中に東京デスク※を設置。
Tokyo Desk of MSF France was set up in MSF Japan.
- 2012年 MSF日本、設立20周年を迎える。
MSF Japan has commemorated its 20th anniversary.

※ 援助活動の企画・運営を行うMSFフランスの出先機関。

20周年記念事業 Anniversary Projects in 2012

記念出版

『人道的交渉の現場から —国境なき医師団の葛藤と選択』

クレール・マゴン、ミカエル・ノイマン、
ファブリス・ワイスマン 編著

本書は、活動経験豊富なMSFの人道援助従事者15人が執筆し、MSF財団人道問題研究所(CRASH)の編集により

2011年に仏・英語で出版されたもので、診療許可を巡るミャンマー軍事政権との交渉や、ソマリアで活動を継続する難しさなど、現場で直面する困難や障壁の実例を取り上げ、さらに、MSFの証言活動の背景や人道主義の政治・軍事的利用の危険性など、幅広いテーマを掘り下げたものです。

★定価1,500円(税込) ISBN-13: 978-4797987393

全国の書店や、小学館スクウェア<http://shogakukan-square.jp/> ほか、Amazonなど主要インターネット書店にてご購入いただけます。

Publication

Humanitarian Negotiations Revealed: The MSF Experience

edited by Claire Magone, Michael Neuman, Fabrice Weissman.

This book compiles examples of the difficulties and challenges which MSF finds in various contexts, from negotiating for access to patients with the military government in Myanmar, to the challenges of our continued operations in Somalia. In addition, it contains wider-ranging subjects including a history of why MSF speaks out, as well as the dangers of mixing humanitarian ideals with military or political goals. It was first published in 2011 in French and English, edited and produced by the Paris-based Centre de Réflexion sur l'action et les Savoirs Humanitaires (CRASH). A total of 15 authors, all with a wide range of significant MSF operational experience, contributed to the book.

記念講演会・シンポジウム



上記書籍の刊行に先立ち、編著者の1人であるCRASHのミカエル・ノイマンが来日。早稲田大学国際教養学部との共催による講演会や、東京大学大学院総合文化研究科の共

催・後援を得て学識者とのパネルディスカッションも実施しました。2013年も引き続き、人道問題に関心をもつ方々へ本書をご紹介します。より多くの方にMSFに対する理解を深めていただけるよう努力を続けます。今後もMSF日本にお力添えのほど、お願い申し上げます。

Commemorative Lecture and Symposium

Around the launch of the book in November 2012, a series of events were held in conjunction with the University of Tokyo and Waseda University. Michaël Neuman, one of the editors of the book gave lectures and participated in a panel discussion with senior academics. Specific financial support from a number of corporate and major donors meant that we were able to cover the cost of the translation and publishing. Continued efforts will be made in 2013 to promote the book among those interested in humanitarian affairs and have more people in Japan understand MSF and possibly to contribute to our work in different ways.

MSFワールドワイド

2011年の 活動概況と財務



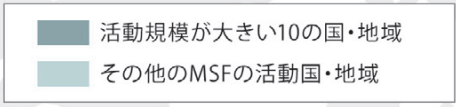
コンゴ民主共和国

東部の情勢悪化が続く中、基礎的な医療も不足。資金難のためHIV/エイズ治療を受けられない患者の数は30万人に上るとみられており、MSFは2011年には患者5000人以上に治療を提供した。

※ P.34, 35, 37は、MSF全事務局の活動を網羅した『MSF ACTIVITY REPORT 2011』（英語版）の抜粋です。
2012年の実績は2013年7月に発表の予定です。

2011年、MSFは68の国と地域で活動しました

2011年、国境なき医師団 (MSF) は、68の国と地域で医療・人道援助プログラムを実施しました。多様なニーズに対応すべく、MSFは毎年数多くのプログラムを開始あるいは終了、また、1つの国で複数のプログラムを実施することもあります。活動地では常に状況の変化を観察し、可能な場合には現地保健当局や他のNGOなどにプログラムの引き継ぎを行っています。



ハイチ
コレラ対策や外科治療など不足する医療を支援



南スーダン
避難民に栄養補助食や予防接種を提供



ソマリア
紛争を逃れて避難した人びとに医療を提供



ケニア
栄養失調まん延地域へ移動診療で治療を届ける



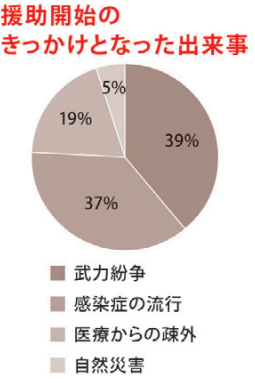
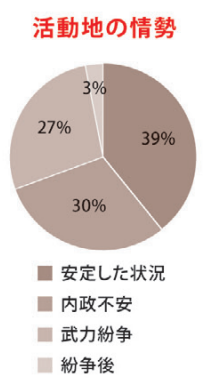
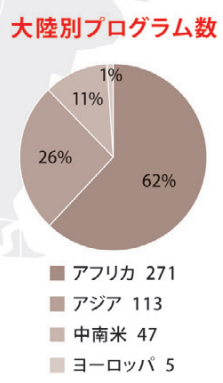
コンゴ民主共和国
情勢不安地域で緊急産科医療を提供



ジンバブエ
不足するHIV/エイズ・結核治療を支援

MSFの活動概況 (2011年実績) ※小数点以下は四捨五入

- 活動規模が大きい10の国 (プログラム支出額順)
1. コンゴ民主共和国
 2. ハイチ
 3. 南スーダン
 4. ソマリア
 5. エチオピア
 6. ニジェール
 7. ケニア
 8. ジンバブエ
 9. ナイジェリア
 10. チャド



MSFのネットワーク (2013年3月現在)

MSFは世界28カ国に事務局をもつ国際的な組織です。本部は存在せず、それぞれの事務局が憲章に基づき、独立して活動を行いながら、緩やかなネットワークで結ばれています。

オペレーション事務局				
オランダ	スイス	スペイン	フランス	ベルギー
パートナー事務局				
アイルランド	アメリカ合衆国	アラブ首長国連邦	アルゼンチン	イギリス
イタリア	インド	オーストラリア	オーストリア	カナダ
韓国	ギリシャ	スウェーデン	チェコ	デンマーク
ドイツ	日本	ノルウェー	ブラジル	香港
南アフリカ共和国	メキシコ	ルクセンブルク		

MSFインターナショナル
事務局間の調整を行う機関。(スイス)

付属組織
ロジスティックセンター (フランス、ベルギーほか)
物資の購入、管理、輸送を担当し、効率的な援助活動のための物資調達を支える。

エピセンター (フランス)
疫学研究組織。MSFの活動地で得られた医学的情報の分析や調査研究報告などを行う。

MSF結合ベースの活動実績について

国境なき医師団(以下MSF)の5つのオペレーション事務局は、2011年度、68の国と地域で人道援助プログラムを運営しました。個々のプログラムは、MSF日本を含めた全事務局の財政的および人的支援によって支えられています。

こうしたMSFの1年間のグローバルな活動の結果としての財政状態および経営成績は、スイスにあるMSFインターナショナル事務局により、国際財務報告基準に準じた結合ベースの年次報告書としてまとめられ、監査法人であるKPMGおよびErnst & Youngの共同監査を受けた後に公表されています。

この結合ベースの年次会計報告書は、5つのオペレーション事務局の各活動地のプログラム毎の個別の決算数値を取りまとめ、オペレーション事務局を含めた全事務局の個別決算書の結合から、会計監査に至るまでの手続きに時間を要するため、翌事業年度においてMSF日本のウェブサイトにて紹介しています。ここでは、2011年度の結合決算書から抜粋し、要約のための組み替えを行った「財務活動計算書」(いわゆる損益計算書)を掲載します。

『2011年度 国境なき医師団 国際年次会計報告』(和文)はウェブでご覧いただけます。⇒ www.msf.or.jp/info/financial.html

2011年度 結合ベースMSF「財務活動計算書」(要約)

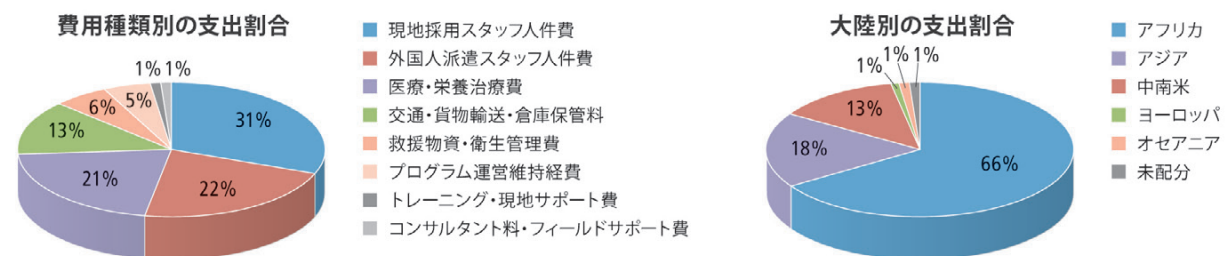
	2011 (千ユーロ)	2010 (千ユーロ)	増 減 (千ユーロ)	2011 円換算額(注3) (百万円)
I. 経常収益				
1) 個人支援者からの収入 (MSF日本など全事務局の収入を含む)	684,222	691,984	△ 7,762	76,215
・一般個人寄付	619,615	635,599	△ 15,984	69,019
・遺贈	64,479	56,253	8,226	7,182
・会費	128	132	△ 4	14
2) 民間機関からの寄付収入 (MSF日本など全事務局の寄付収入を含む)	107,375	166,915	△ 59,540	11,961
・一般法人	41,887	65,087	△ 23,200	4,666
・信託・財団等	36,388	55,252	△ 18,864	4,053
・その他	29,100	46,576	△ 17,476	3,241
1)～2) 計	791,597	858,899	△ 67,302	88,176
3) 公的機関からの収入(注2)	75,200	69,343	5,857	8,377
4) その他収入	18,744	15,063	3,681	2,088
・利息収入および余資運用益	6,301	5,300	1,001	702
・設備売却および役務提供による収益	2,908	4,317	△ 1,409	324
・物品販売その他による収益	9,535	5,446	4,089	1,062
経常収益 合計	885,541	943,305	△ 57,764	98,640
II. 経常費用				
1) ソーシャル・ミッション	736,613	666,063	70,550	82,051
■ 援助活動費				
・人道援助プログラム支援費(MSF日本など全事務局からの支援金を含む)	609,819	555,265	54,554	67,928
・各事務局によるプログラム・サポート費	92,318	78,758	13,560	10,283
・その他の人道援助活動費	7,035	5,689	1,346	784
援助活動費 計	709,172	639,712	69,460	78,995
■ 広報活動費	27,441	26,351	1,090	3,057
2) 募金調達活動費	110,893	103,698	7,195	12,352
3) マネジメントおよび管理費	52,403	43,119	9,284	5,837
4) 所得税	28	-	28	3
2)～4) 計	163,324	146,817	16,507	18,193
経常費用 合計	899,937	812,880	87,057	100,244
為替差損	△ 1,614	2,097	△ 3,711	△ 180
差引当期正味財産増減	△ 16,010	132,522	△ 148,532	△ 1,783

(注1) 上記の計算書は日本で監査を受けたものではない。

(注2) 公的機関には、欧州委員会人道支援事務局(ECHO)、およびベルギー、チェコ、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、ルクセンブルク、スペイン、スウェーデン、スイスおよび英国政府等が含まれる。

(注3) 1ユーロ=111.39円にて換算。

支出内訳 (活動地におけるプログラムおよび調整チームの支出)



活動地域

国/地域	百万ユーロ	(百万円)	国/地域	百万ユーロ	(百万円)	国/地域	百万ユーロ	(百万円)
アフリカ			アジア/中東			ヨーロッパ		
コンゴ民主共和国	67.4	(7,508)	パキスタン	15.0	(1,671)	ロシア	5.5	(613)
南スーダン	35.7	(3,977)	ミャンマー	13.9	(1,548)	ウクライナ	2.1	(234)
ソマリア	35.1	(3,910)	アフガニスタン	11.5	(1,281)	フランス	1.2	(134)
エチオピア	24.8	(2,762)	イエメン	11.0	(1,225)	その他※	0.9	(100)
ニジェール	24.2	(2,696)	インド	10.9	(1,214)	合計	9.7	(1,080)
ケニア	22.9	(2,551)	イラク	10.1	(1,125)			
ジンバブエ	20.3	(2,261)	ウズベキスタン	5.1	(568)	オセアニア		
ナイジェリア	18.0	(2,005)	パレスチナ	4.1	(457)			
チャド	17.9	(1,994)	バングラデシュ	4.0	(446)	未配分		
コートジボワール	17.4	(1,938)	スリランカ	3.6	(401)			
中央アフリカ共和国	17.0	(1,894)	日本	2.5	(278)	バブアニューギニア	3.8	(423)
マラウイ	10.5	(1,170)	イラン	2.1	(234)	合計	3.8	(423)
リビア	10.0	(1,114)	キルギス	2.1	(234)			
スワジランド	9.6	(1,069)	アルメニア	2.0	(223)			
スーダン	9.2	(1,025)	シリア	2.0	(223)			
ギニア	8.4	(936)	タイ	1.4	(156)			
モザンビーク	8.0	(891)	カンボジア	1.4	(156)	地域横断的な活動	1.4	(156)
ウガンダ	7.5	(835)	レバノン	1.3	(145)	その他	1.8	(201)
南アフリカ共和国	6.9	(769)	トルコ	1.3	(145)	合計	3.2	(356)
シエラレオネ	6.2	(691)	グルジア	1.2	(134)			
マリ	4.6	(512)	その他※	2.7	(301)			
ブルンジ	3.8	(423)	合計	109.2	(12,164)			
ザンビア	3.6	(401)						
リベリア	3.2	(356)	中南米					
カメルーン	3.1	(345)						
コンゴ共和国	3.0	(334)	ハイチ	62.3	(6,940)			
ブルキナファソ	2.7	(301)	コロンビア	10.4	(1,158)			
エジプト	2.2	(245)	ボリビアおよびパラグアイ※※	1.6	(178)			
ジブチ	1.5	(167)	グアテマラ	1.0	(111)			
マダガスカル	1.0	(111)	その他※	1.7	(189)			
その他※	1.2	(134)	合計	77.0	(8,577)			
合計	406.9	(45,325)						

※「その他」は、プログラム支出が100万ユーロ(約1億1139万円)以下の国をまとめている。
 ※※ ボリビアおよびパラグアイは共同プログラムにて運営されている。
 ※※※ 1ユーロ=111.39円換算(金額の十万円以下は四捨五入)

スタッフ数

	2011		2010	
スタッフ派遣回数(年間)	6,376	100%	6,561	100%
医師	1,734	27%	1,672	25%
看護師・その他医療従事者	1,935	30%	2,002	31%
非医療従事者	2,707	43%	2,887	44%
スタッフ数 合計	33,944	100%	29,557	100%
現地ポスト数	31,882	94%	27,650	93%
現地採用スタッフ	29,302	86%	25,185	85%
外国人派遣スタッフ	2,580	8%	2,465	8%
事務局職員	2,062	6%	1,907	7%

皆様のご支援、ありがとうございました

2012年、国境なき医師団(MSF)日本は、20万6460人の個人、1万38の企業・団体の皆様よりご支援をいただき、世界各国でのMSFの医療・人道援助活動に資金を提供することができました。苦境におかれた人びとに私たちが援助を届けることを可能にくださった皆様のご厚意に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

特別協賛

エムシードウコー株式会社
モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所

プロボノ

株式会社バス・コミュニケーションズ
1st ホールディングスグループ ウイングアーク株式会社
グーグル株式会社
日本ヒューレット・パッカード株式会社
株式会社セールスフォース・ドットコム
デルタ航空スカイマイル
マイクロソフト株式会社
株式会社ケイツー

団体等

公益財団法人青山財団
ピースフル・コンサート越谷 実行委員会
浦和明の星女子中学・高等学校
一般社団法人 メディカルスタディ協会
豊島岡女子学園中学校・高等学校

20周年記念事業

『人道的交渉の現場から』出版協賛 (P.32参照)

株式会社公文教育研究会
グンゼ株式会社
シグマ株式会社
株式会社小学館

支援企業

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
株式会社ファンキー・ジャム
株式会社CHINTAI
株式会社大和証券グループ本社
株式会社ジェーシービー
株式会社証券保管振替機構
大和証券株式会社
lucifer research株式会社
フォーク株式会社
マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン
ピーロート・ジャパン株式会社
ステラ ケミファ株式会社
株式会社チヨダ
株式会社リクルート
株式会社保険見直し本舗
ダイドードリンコ株式会社
丸中製菓株式会社
株式会社エポスカード
新日本管財株式会社 互助会
リンベル株式会社
株式会社メディカル・ステージ
株式会社リーガルコーポレーション
エムスリー株式会社
ブルーチップ株式会社
楽天KC株式会社
森永乳業株式会社(森乳スマイル倶楽部)
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
株式会社帝国ホテル
ヤフー株式会社
株式会社ジャックス
ユナイテッドビーブル株式会社
株式会社日産フィナンシャルサービス
アプライドマテリアルズジャパン株式会社

以上、順不同。

理事

Board Members

会長 President	黒崎 伸子 Nobuko Kurosaki MD
副会長 Vice President	青池 望 Nozomi Aoike MD
副会長 Vice President	ナヨン・キム Nayeon Kim MD
専務理事 Secretary General	渥美 智晶 Tomoaki Atsumi MD
会計役 Treasurer	キン・ランド Kean Rand
	フレデリック・ヴァラ Frederic Vallat
	沢田 さやか Sayaka Sawada
	リチャード・スィーベル Richard Sebel
	須田 洋平 Yohei Suda

監 事

Controller

上柳 敏郎
Toshiro Ueyanagi
ジル・デルマス
Gilles Delmas

事務局長

General Director

エリック・ウアネス
Eric Ouannes

(2013年3月末現在)

国境なき医師団日本について

国境なき医師団(MSF)日本は1992年に設立され、1997年にMSFの事務局の1つとして独立組織となりました。1999年に特定非営利活動法人(NPO法人)として東京都の認証を受け、2002年より認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)として国税庁の認定を受けています。

活動をご支援ください

国境なき医師団の活動は、皆様からの寄付で実現しています。私たちとともに、命を救う力となってください。

寄付の申し込み
資料請求は

0120-999-199
(通話料無料 9:00~19:00 無休)
www.msf.or.jp



国境なき医師団日本は「認定NPO法人」として国税庁の認定を受けています。国境なき医師団日本への寄付は、所得税、法人税などの優遇措置の対象となります。